



学校評価支援システム S Q S

Shared Questionnaire System

©KUBO Hiroya/Shared Questionnaire System Development Project

基本操作テキスト

岩手県立総合教育センター

< 目次 >

SQS アンケートシステムの導入	1
1 SQS (Shaed Questionnaire System) とは	1
2 「SoutceEditor2.0」の起動	2
3 「MarkReader2.0」の起動	4
SQS SoutceEditor によるアンケート用紙の作成	5
1 アンケート用紙の構成	5
2 SQS SoutceEditor を使ったアンケートの作成	6
3 SQS SoutceEditor の操作	8
4 アンケート用紙の作成	10
5 調査票の属性項目の入力	11
6 アンケート項目、解答欄の作成	13
7 アンケート項目データの保存	28
8 アンケート用紙の印刷	30
回収したアンケート用紙のスキャナでの読み取りと画像変換	32
1 アンケート用紙のスキャニング (PDFファイルとして保存)	32
2 PDFファイルの画像データへの変換	35
SQS MarkReader でのマーク解析	35
1 マーク解析の準備	36
2 マーク解析	37
アンケート結果の分析	40
1 解析結果の内容	40
2 解析できなかったデータの確認と入力訂正	41
3 集計しやすいように票の体裁を整える	41
4 集計欄を作成して計算式を設定する	42
5 集計結果を使ってグラフ化	43
6 課題発見型アンケート形式の集計とグラフ化	44
【演習】 重要度・実現度による散布図の作成	45

S Q S アンケートシステムの導入

1 SQS (Shared Questionnaire System) とは

SQSとは
共有された調査支援システム・調査票の共有システム
「正」の字を書いてアンケートの集計をするのにウンザリしてませんか？
調査票を作るのに苦労していませんか？

- SQS (Shared Questionnaire System)は、「普通紙マークシート方式による調査票作成・読み取り集計ソフトウェア」です。
- SQS を利用するためには、特別な機材は必要ありません。 PC、白黒プリンタ、ドキュメントスキャナがあれば OK です。
- SQS は、小中高校の先生などをエンドユーザとして、全国的な導入が始まっています。インストール・利用は、とっても簡単です。
- SQS は、無償・自由な利用が可能です。

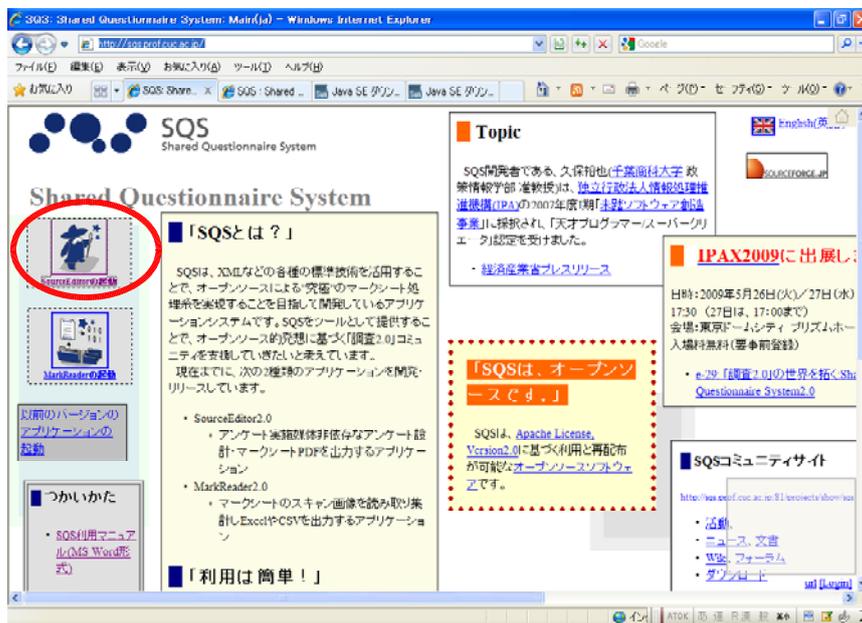
<http://sqs-xml.sourceforge.jp/sqs-core/doc/about.html>



「アンケート設計ツール」「マーク読み取りツール」は
<http://sqs.prof.cuc.ac.jp/> から起動することができます。
ユーザ登録なし、利用料金なし、サポートなしの自己責任で誰でも使うことができるソフトです。

2 「SourceEditor2.0」の起動

- (1) S Q S システムの Web ページを表示します。(http://sqs.prof.cuc.ac.jp/) S Q S テスト利用サービスの [SourceEditorの起動] ボタンをクリックします。



- (2) Java Web Start のウィンドウが表示され、ダウンロードが始まります。



- (3) 「警告 - セキュリティ」のウィンドウが表示された場合には、以下のように□をクリックしてチェックをいれ、[実行] ボタンをクリックします。

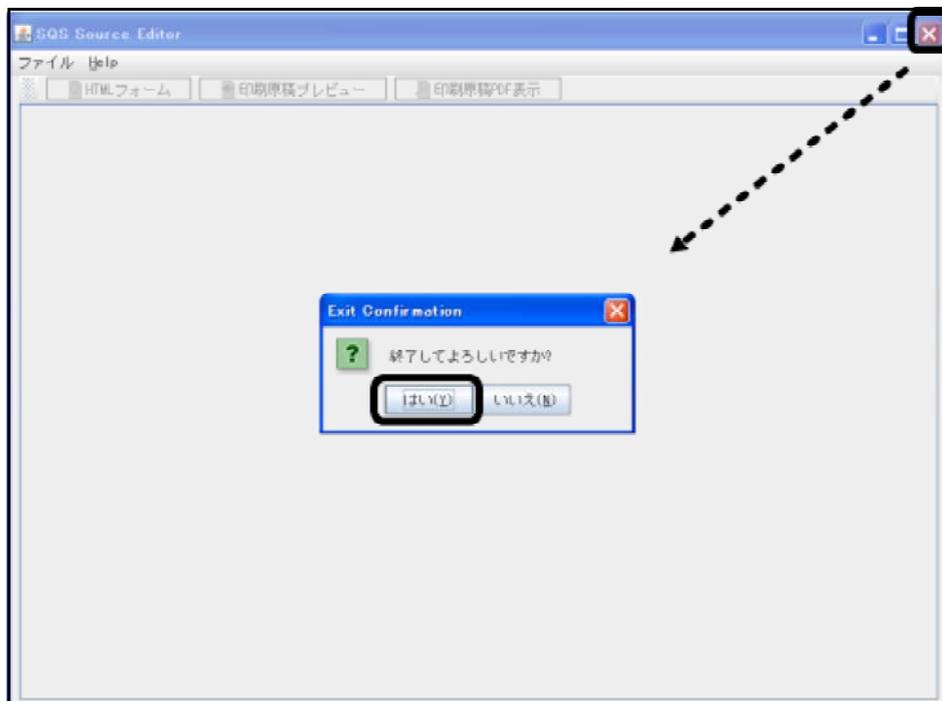


- (4) 以下のウィンドウが表示された場合は、[ブロックを解除する] ボタンをクリックします。



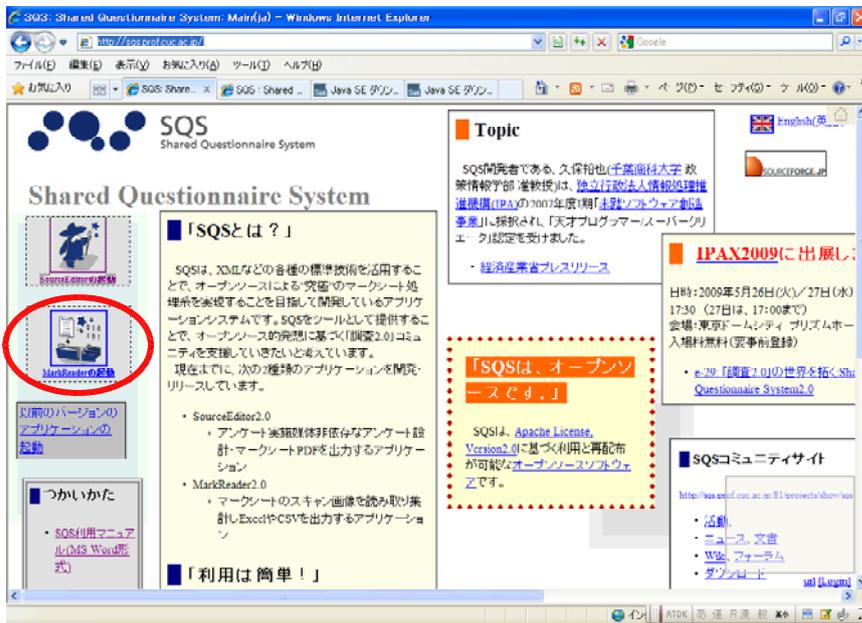
- (5) 「SQS Source Editor」が起動します。

次に、「MarkReader2.0alpha」を同様にダウンロードしますので、右上の[×]ボタンをクリックして、確認メッセージのウィンドウで[はい]ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。



3 「MarkReader2.0」の起動

- (1) S Q S システムの Web ページを表示します。(http://sqs-xml.sourceforge.jp/) S Q S テスト利用サービスの [MarkReader2.0alphaの起動] ボタンをクリックします。



- (2) Java Web Start のウィンドウが表示され、ダウンロードが始まります。



- (3) 「MarkReader2.0」が起動しますので、右上の ボタンをクリックして、確認メッセージのウィンドウで [はい] ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。



- (4) プログラムのメニューに、「SourceEditor2.0alpha」、 「MarkReader2.0alpha」が登録されています。



これで、S Q S システムの設定が完了しました。
これ以降は、このアイコンをダブルクリックして、アプリケーションを起動します。

SQS SourceEditor によるアンケート用紙の作成

I. アンケート用紙の作成

1 アンケート用紙の構成

SQS Source Editor で作成されるアンケート用紙の形式は次のような形式になります。

↙ ホチキス止め位置

- ← 読み取り基準位置マーク（上）
- ← アンケートタイトル
- ← 依頼文

← マークのしかた

質問文、回答欄

← 読み取り基準位置マーク（下）

右上の斜めの点線は2枚以上のアンケート用紙をホチキス止めする位置と回収後に切り取るためのガイドラインです。

読み取り基準位置マークは、2ページ目以降にも同様に印字されます。

アンケートタイトル、依頼文は1枚目のみに印字されます。

< SQSでのアンケート作成の特性・注意点 >

1ページに印字される行数は約35行ですが、質問文と回答欄を1つの部品として扱いますので、ページ内に収まらない場合は次ページに印字されます。

2 SJS Source Editor を使ったアンケート作成

SJS システムでは、次の 5 つの形式のアンケート項目を作成することができます。

(1) 単一選択式

質問文に対して、複数の選択肢から 1 つ選んでマークする形式です。a・b の 2 つのタイプがありますが、項目の並べ方を変更しているだけで同じものです。

a. 選択肢を項目で表現する形式

(1) 【例：単一選択】あなたの年齢は？
]1: 20～29歳]2: 30～39歳]3: 40～49歳]4: 50～59歳]5: 60～69歳]6: 70歳以上

b. 選択肢を文章で表現する形式

(2) 【例：単一選択（文章タイプ）】□□□□□についてお伺いします。以下の項目から、あなたの考えに合うものを 1 つ選んでください。（1 つにマーク）
]1: □□が、△△△△△△△△をすること1
]2: □□が、△△△△△△△△をすること2
]3: □□が、△△△△△△△△をすること3
]4: □□が、△△△△△△△△をすること4
]5: □□が、△△△△△△△△をすること5
]6: □□が、△△△△△△△△をすること6

(2) 複数選択式

質問文に対して、選択肢から複数の回答をマークできる形式です。

(3) 【例：複数選択】お子さんが通う学校は？（複数回答可）
]1: 小学校]2: 中学校]3: 高校
]4: 専門学校・予備校]5: 大学

(3) 複数選択式（文章タイプ）

文章形式の選択肢から、複数の回答をマークできる形式です。
表形式で選択肢の文章が縦に並べられます。

(4) 【例：複数選択（文章タイプ）】□□□□□についてお伺いします。以下の項目から、あなたの考えに合うものをすべて選んでください。（該当する項目すべてにマーク）

	マーク
1 □□が、△△△△△△△△をすること1	<input type="checkbox"/>
2 □□が、△△△△△△△△をすること2	<input type="checkbox"/>
3 □□が、△△△△△△△△をすること3	<input type="checkbox"/>
4 □□が、△△△△△△△△をすること4	<input type="checkbox"/>
5 □□が、△△△△△△△△をすること5	<input type="checkbox"/>
6 □□が、△△△△△△△△をすること6	<input type="checkbox"/>



(4) 設問グループ（尺度型設問タイプ）

各質問文に対して、あてはまる尺度を選んでマークする方式です。例のように回答の視点を複数（重要度と満足度のよう）に指定することもできます。

(1) 【例：重要度－満足度】 □□□□□についてお伺いします。以下の各項目について、あなたは「(A)どのくらい重要だと思うか【重要度】」と「(B)どれくらい満足しているか【満足度】」をお答えください。
 ((A)と(B)の両方の該当する箇所（各項目1カ所づつ）を塗りつぶしてください)

		(A)重要度			(B)満足度			
		大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	大変満足している	やや満足している	全く満足していない	わからない
1	□□が、△△△△△△△△をすること1	<input type="radio"/>						
2	□□が、△△△△△△△△をすること2	<input type="radio"/>						
3	□□が、△△△△△△△△をすること3	<input type="radio"/>						
4	□□が、△△△△△△△△をすること4	<input type="radio"/>						

(5)  自由記述方式

決められた枠の中に意見等を手書きできる形式です。

記述欄の大きさは自由に設定することができます。また、記述された内容を画面上で確認しながらテキスト入力をし、データとして保存することができます。

(5) 【例：自由記述欄】 □□□□に関してご意見・ご感想がございましたら、ご記入ください

これらの組み合わせでアンケート用紙を作成することになりますが、この5種以外は形式を作成することはできません。そのため、この形式の質問・回答形式に合わせたアンケート項目、回答方法で設問を作成する必要があります。

○あなたの所属はつぎのどれですか。

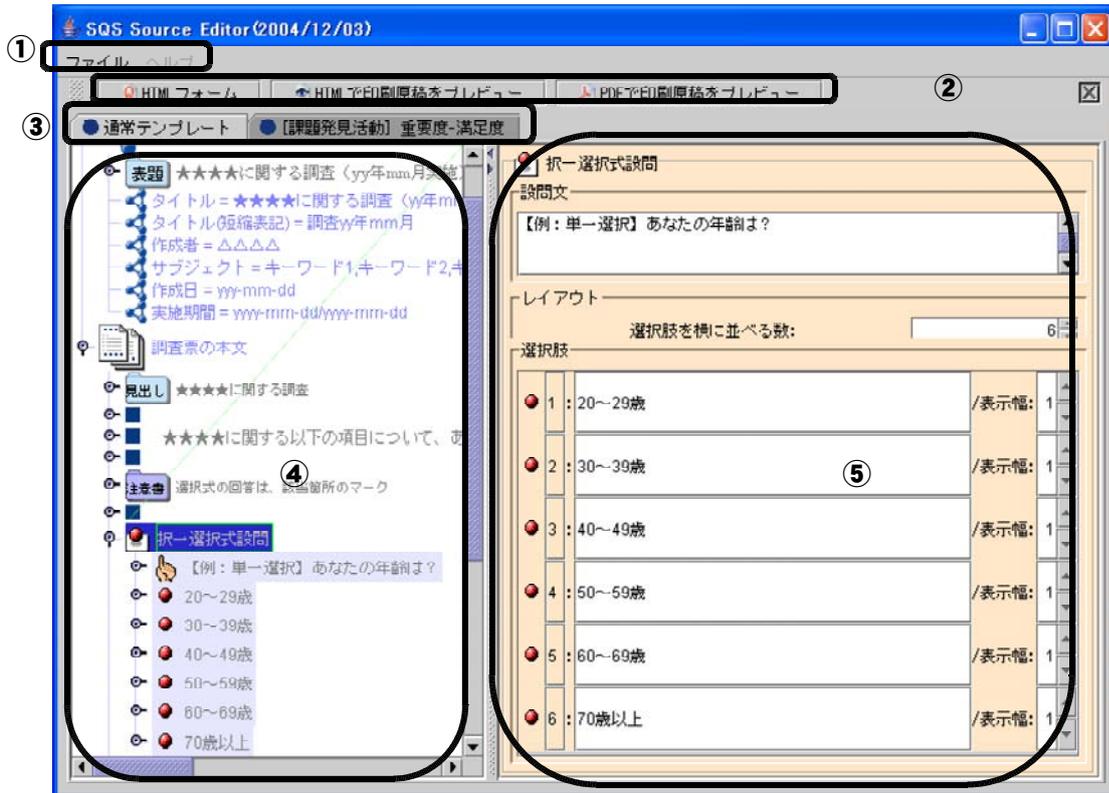
1:幼稚園/保育園 2:小学校 3:中学校 4:高校 5:大学 6:その他 ()

✕ 選択肢に記入欄を付けても認識できない。

また、フォントや装飾、改行幅や1行文字数などのページレイアウトなどの変更はできませんので、質問文の長さや項目数を精査する必要があります。

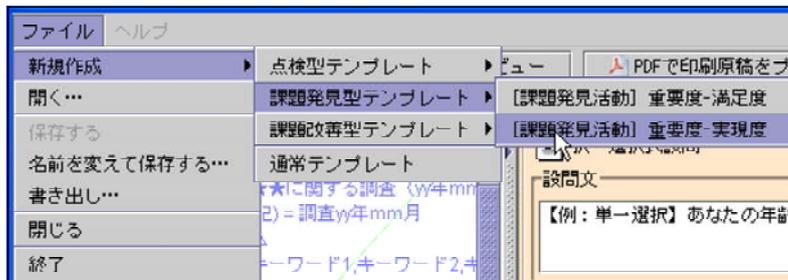
3 SQS Source Editor の操作

SQS Source Editor の画面構成は次のようになっています。



①メニューバー

SQS でアンケート用紙の新規作成や保存などのファイル操作をおこないます。新規作成の場合は、テンプレートから基本となる様式を選択します。



②アンケートフォーム作成ボタン

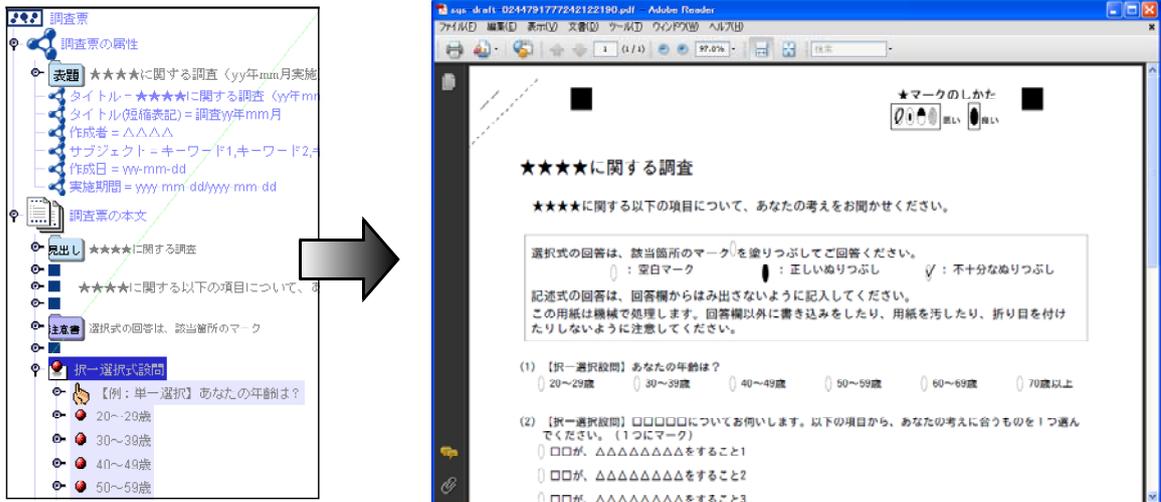
HTMLフォーム・印刷原稿をプレビュー
Web ページでアンケート調査を行う場合の形式。



※現在開発中のため、利用できません。

PDFで印刷原稿をプレビュー

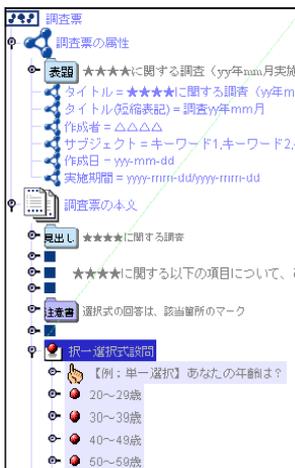
SQS Source Editor で作成したアンケート項目をもとに、アンケート用紙を PDF 形式の文書として作成し印刷される状態をプレビューします。



④アンケート用紙の構造ウィンドウ

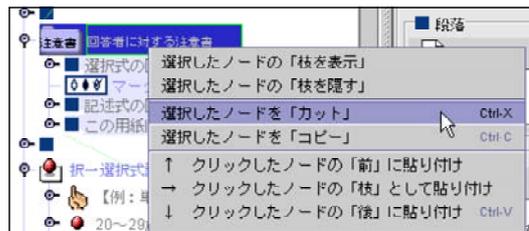
アンケート用紙に印刷される様々な部品（ノード）が表示されます。

それぞれのノードをクリックすると右側のウィンドウに入力欄や設定欄が表示されます。ノードは階層形式になっているので、ノードの下に構成要素のノードがある場合は、ダブルクリックをするとその下に内容が表示されます。



階層形式で各アンケートの部品（標題、質問項目、回答項目など）が表示されている。

ノードを選択し右クリックするとメニューが表示され、切り取りや貼り付けができる。



⑤ノードの属性ウィンドウ

各ノードの表示される文字の入力や各種の設定をおこないます。



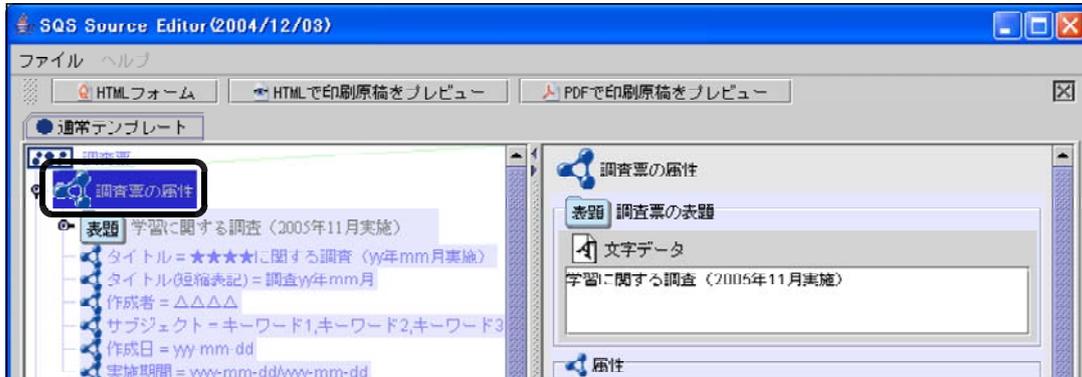
ノードの種類により、表示される内容は異なります。

複数のノードを選択したときは選択したノードの設定内容のすべてが表示されます。

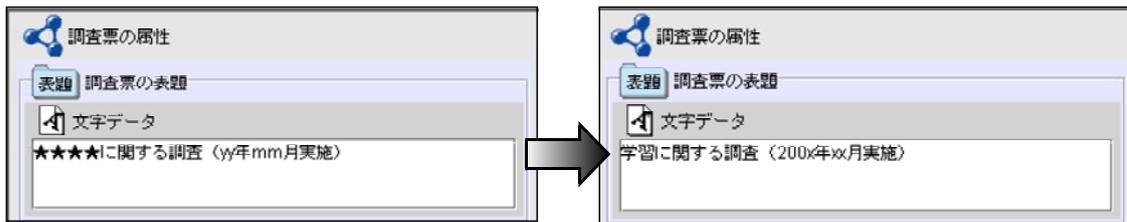
5 調査票の属性項目の入力

アンケートの基本的な内容を最初に入力します。アンケート調査用紙には「タイトル(短縮表示)」以外は表示されませんが、調査の記録等のために入力しておきましょう。

- (1) 左の構造ウインドウで「調査票の属性」をクリックして選択します。



- (2) 右の属性ウインドウの各項目に入力します。
文字データ「★★★★に関する調査 (yy年mm月実施)」の文字をクリックします。
文字を削除し「学習に関する調査 (200x年xx月実施)」と入力します。
年月は、実際の作成日を入力してください。

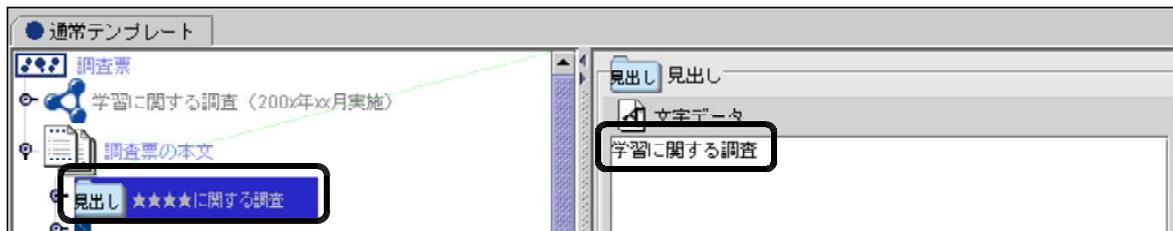


入力後、次の入力欄をクリック、あるいは左のウインドウで他のノードをクリックすると入力が確定します。

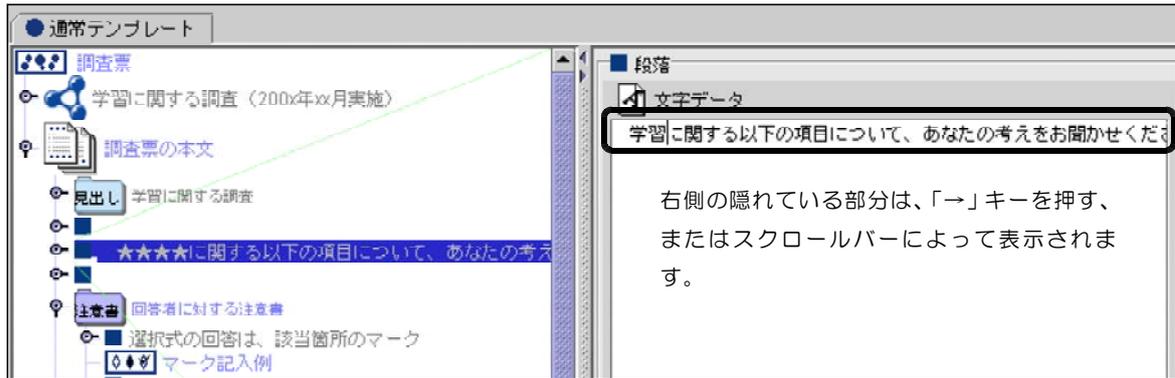
- (3) 以下同様に、下記の内容を入力します。

タイトル・・・「学習に関する調査 (200x年xx月実施)」
タイトル(短縮表示)・・・「調査Ox年xx月」
作成者・・・自分の氏名
サブジェクト・・・省略 (キーワードは、HTML形式の時に有効です)
作成日・・・調査用紙作成日
実施期間・・・「200x-xx-xx/200x-xx-xx」 調査実施期間(用紙配付から回収まで)

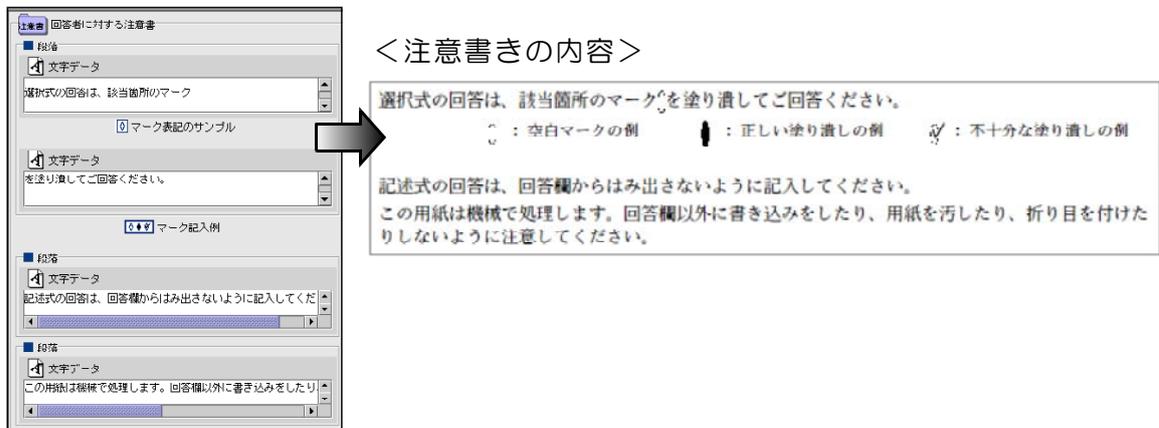
- (4) 左の構造ウインドウで「見出し」をクリックし、右の属性ウインドウの文字データに「学習に関する調査 (200x年xx月実施)」と入力します。



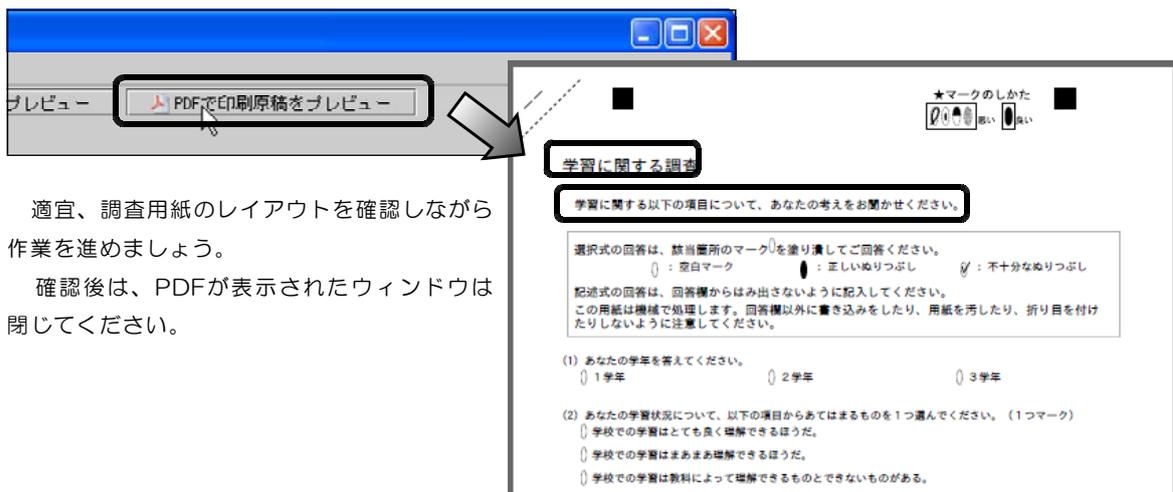
- (5) 同様にアンケート調査の依頼文になる「★★★★に関する以下の……」のノードをクリックし、右の属性ウィンドウの文字データに「学習に関する以下の項目について、あなたの考えをお聞かせ下さい」と入力します。



- (6) 「注意書」の属性は、基本的なマーク方法を記述している部分ですので変更の必要はありません。



- (7) ここまでの内容をプレビューして確認します。「PDFで印刷原稿をプレビュー」のボタンをクリックします。

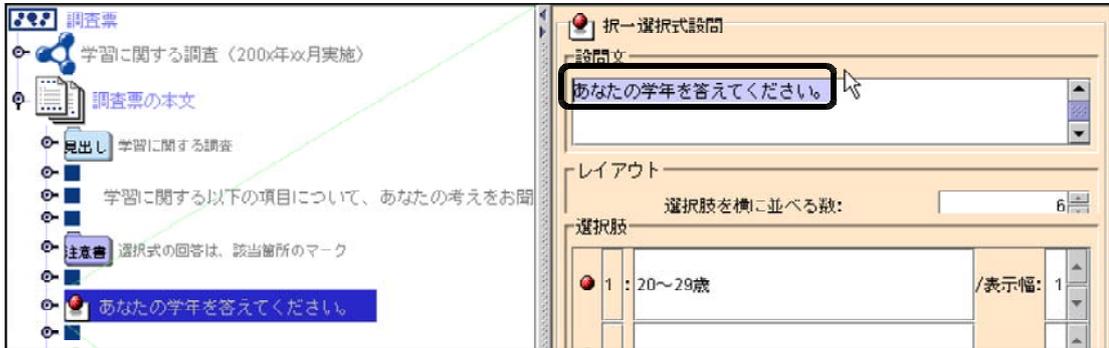


適宜、調査用紙のレイアウトを確認しながら作業を進めましょう。

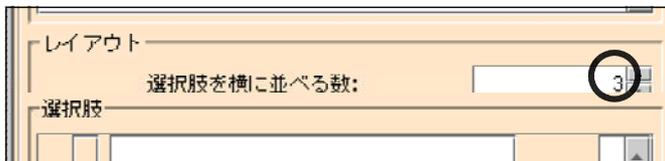
確認後は、PDFが表示されたウィンドウは閉じてください。

6 アンケート項目、回答欄の作成

- (1) 1つめの質問文と回答欄（単一選択型）を作成します。
「【例：単一選択】あなたの年齢は？」のノードをクリックし、属性ウインドウで設問文に「あなたの学年を教えてください。」と入力してください。



- (2) レイアウト 選択肢を横に並べる数： を「3」にします。
ここを変更することにより、選択肢を1列に並べる個数が変わります。



- (3) 選択肢の3つの入力欄にそれぞれ「1学年」「2学年」「3学年」と入力します。



※参考 表示幅：について

ここを2以上に変更すると、次の選択項目が指定した位置分ずれて表示されます。

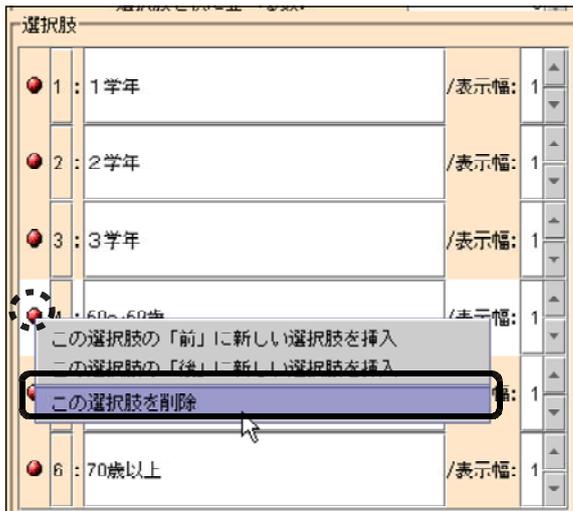


【例：単一選択】あなたの年齢は？
]1: 20~29歳]2: 30~39歳]3: 40~49歳]4: 50~



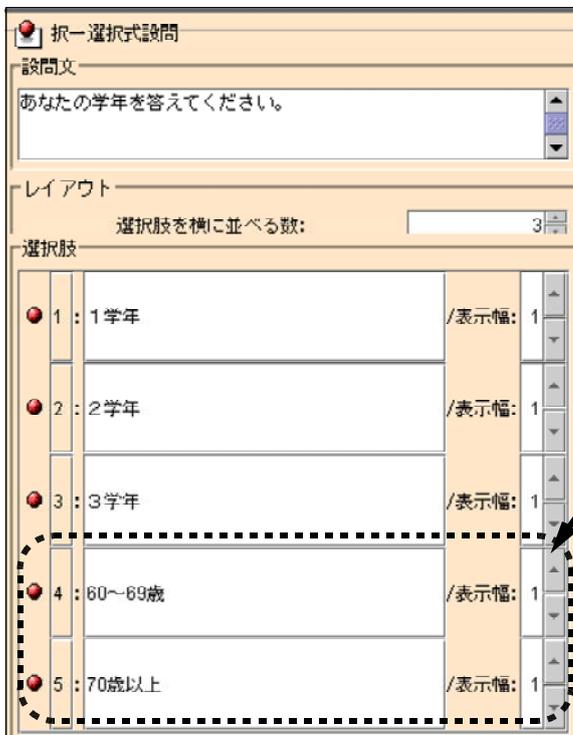
【例：単一選択】あなたの年齢は？
]1: 20~29歳]2: 30~39歳 [-----]]3: 40~

(4) 選択肢の4以降を削除します。選択肢4の「」の上で右クリックします。



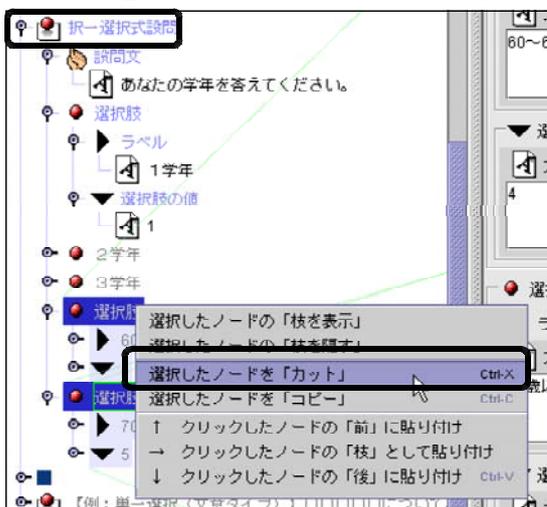
表示されるメニューから「この選択肢を削除」を選びます。

(5) 選択肢4が削除されます。同様に残りの選択肢も削除します。



同様に削除します。

※参考 構造ウィンドウでの削除の方法



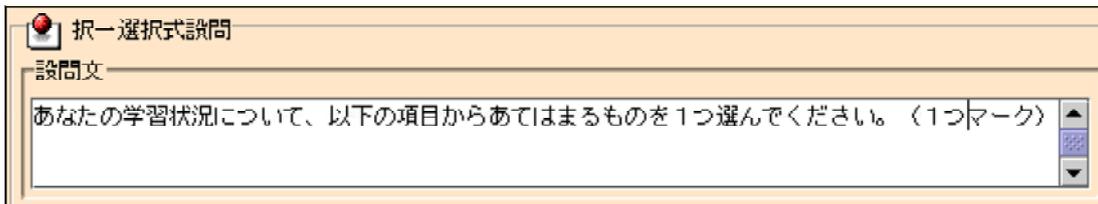
左の構造ウィンドウで、該当する質問のノードをダブルクリックして回答項目を表示し、項目の上で右クリックして表示されるメニューの「選択したノードを「カット」」を選びます。

項目の操作は、どちらのウィンドウでも行えます。

- (6) 印刷される内容をプレビューで確認します。
「PDFで印刷原稿をプレビュー」のボタンをクリックします。

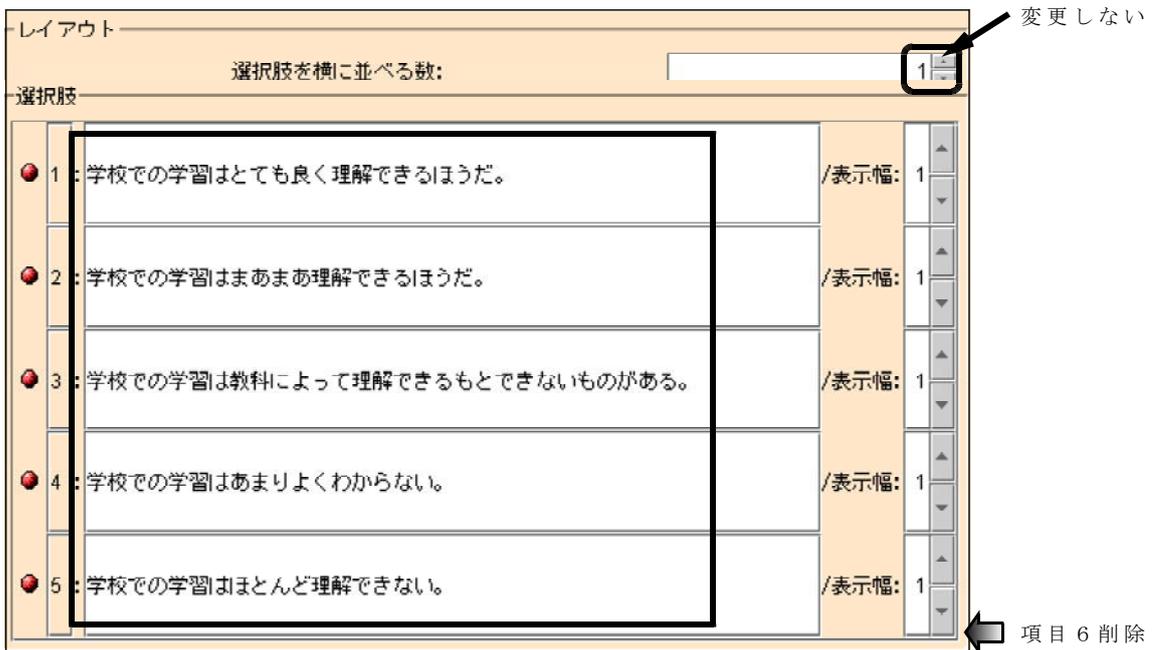


- (7) 2つめの質問文と回答欄（単一選択文章タイプ）を作成します。
「【例：単一選択（文章タイプ）】□□□□□……」のノードをクリックし、属性ウィンドウで設問文に「あなたの学習状況について、以下の項目からあてはまるものを1つ選んでください。（1つマーク）」と入力してください。



※表示されないときは、スクロールバーを使って文字をスクロールします。または、ウィンドウの表示を広げるとすべてを表示します。

- (8) 選択肢を以下のように入力します。余った項目6は削除します。



(9) 印刷される内容をプレビューで確認します。

(2) あなたの学習状況について、以下の項目からあてはまるものを1つ選んでください。(1つマーク)

-]1: 学校での学習はとても良く理解できるほうだ。
-]2: 学校での学習はまあまあ理解できるほうだ。
-]3: 学校での学習は教科によって理解できるもとできないものがある。
-]4: 学校での学習はあまりよくわからない。
-]5: 学校での学習はほとんど理解できない。

(10) 3つめの質問文と回答欄(複数選択)を作成します。

「【例: 複数選択】お子さんが通う学校は?(複数回答可)」のノードをクリックし、属性ウィンドウで設問文に「あなたの好きな科目は何ですか。あてはまるものをすべてマークしてください。(複数回答可)」と入力してください。

複数選択式設問

設問文

あなたの好きな科目は何ですか。あてはまるものをすべてマークしてください。(複数回答可)

(11) レイアウト 横に並べる数: を「5」にします。

レイアウト

選択肢を横に並べる数:

(12) 選択肢を設定します。9科目の選択肢を設定しますので項目5の「

4: 専門学校・予備校

この選択肢の「前」に新しい選択肢を挿入

この選択肢の「後」に新しい選択肢を挿入

この選択肢を削除

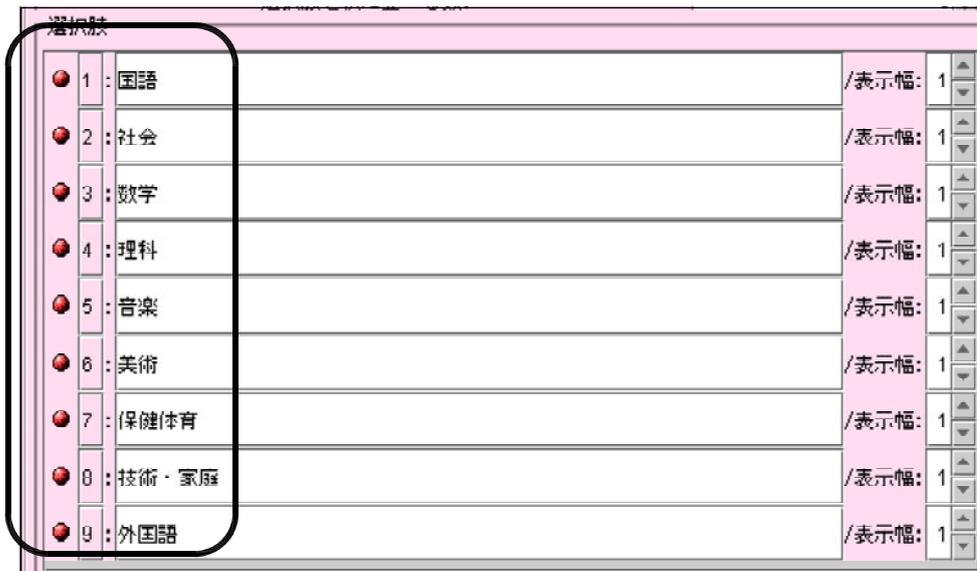
4: 専門学校・予備校	/表示幅: 1
5: 大学	/表示幅: 1
6:	/表示幅: 1

← 回答項目が追加されました

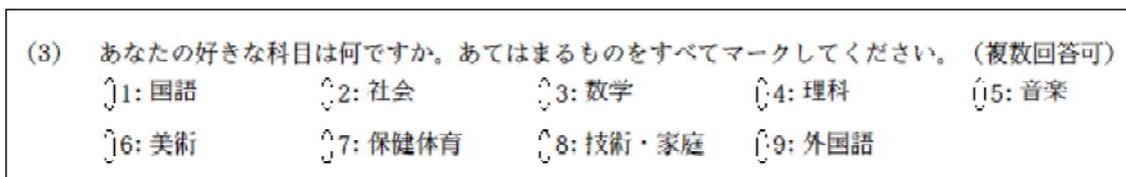
(13) 同様にして選択肢を9つにします。

4: 専門学校・予備校	/表示幅: 1
5: 大学	/表示幅: 1
6:	/表示幅: 1
7:	/表示幅: 1
8:	/表示幅: 1
9:	/表示幅: 1

(14) 選択肢の入力欄に、「国語」、「社会」、「数学」、「理科」、「音楽」、「美術」、「保健体育」、「技術・家庭」、「外国語」を順に入力します。

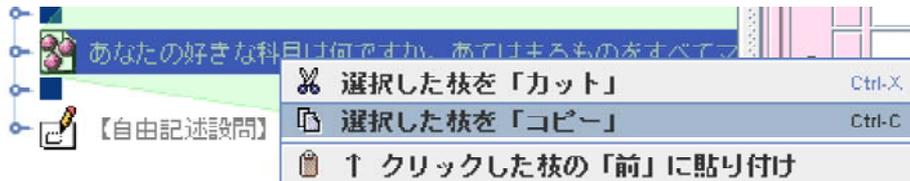


(15) プレビューで確認します。

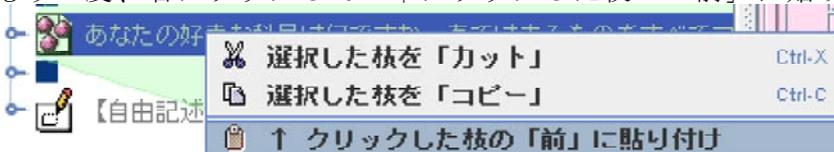


(16) 4つめの質問文と回答欄（複数選択）を作成します。

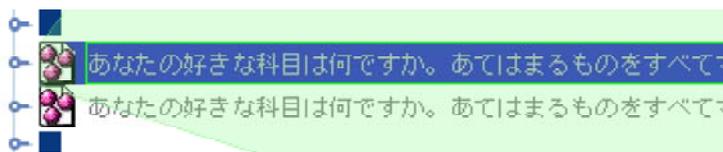
3つめの質問文「あなたの好きな科目は何ですか・・・」のノードを左クリックして選択します。選択した状態で右クリックして「選択した枝を「コピー」」を選びます。



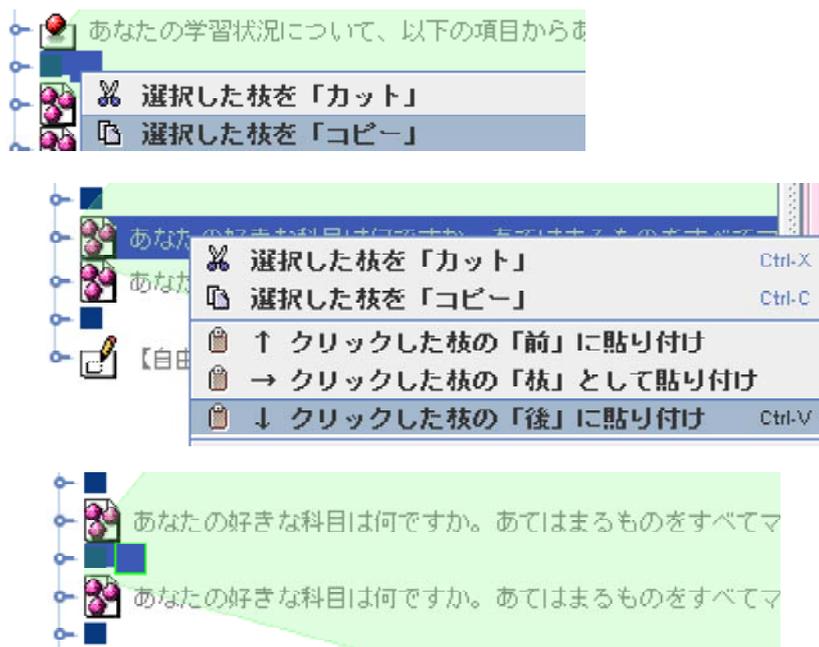
(17) もう一度、右クリックして「↑クリックした枝の「前」に貼り付け」を選びます。



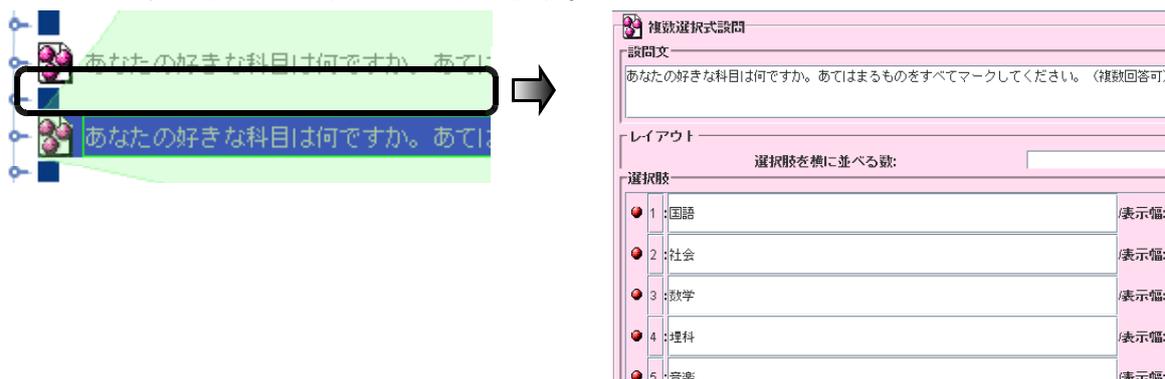
下の図のように2つに増えます



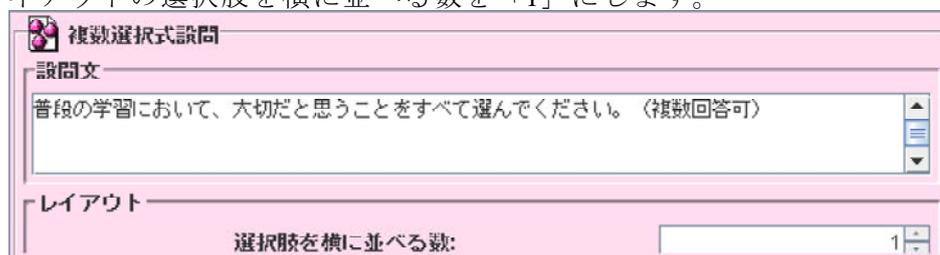
(18) 「■」のノードをコピーして2つの間に間に入れます。



(19) 下にある「あなたの好きな科目は何ですか・・・」のノードをクリックすると選択枝の項目が右のウィンドウに表示されます。



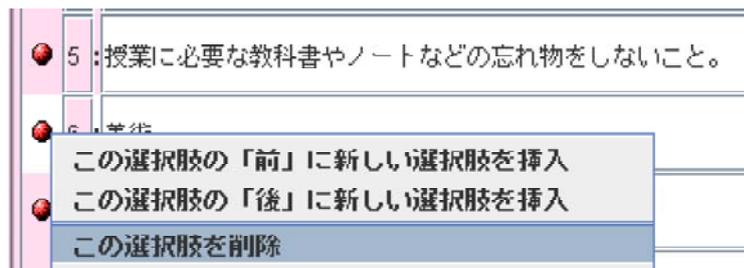
(20) 設問文に「普段の学習において、大切だと思うことをすべて選んでください。(複数回答可)」と入力します
レイアウトの選択枝を横に並べる数を「1」にします。



(21) 選択枝の各設問文に5つの項目を、以下の通り順に入力します。

- ① 「授業中先生の説明や友だちの発言をまじめにしっかりと聞くこと。」
- ② 「授業中しっかりとノートを取ること。」
- ③ 「宿題を期限までにしっかりとやること。」
- ④ 「宿題以外でも予習や復習をやること。」
- ⑤ 「授業に必要な教科書やノートなどの忘れ物をしないこと。」

(22) 選択肢の 6 番目を削除します。●を右クリックして「この選択肢を削除」を選びます。



同様にして、7～9 番目を削除します。

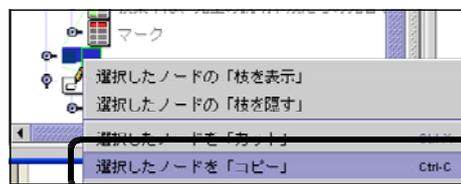
(23) プレビューで確認します。

(4) 普段の学習において、大切だと思うことをすべて選んでください。(該当する項目すべてにマーク)

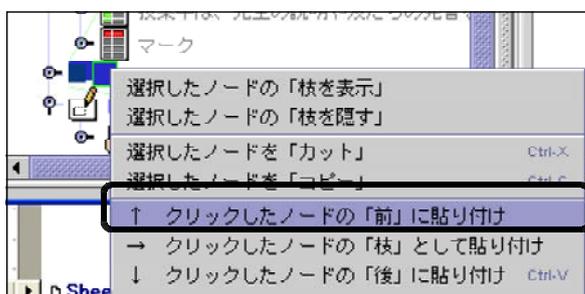
	マーク
1 授業中は、先生の説明や友だちの発言をまじめにしっかりと聞くこと。	○
2 授業中しっかりとノートを取ること。	○
3 宿題を期限までにしっかりとやること。	○
4 宿題以外でも予習や復習をやること。	○
5 授業に必要な教科書やノートなどの忘れ物をしないこと。	○

(24) 5 番目のアンケート項目が 2 ページ目に作成されていますので、1 ページの最後の行に「裏面に続く →」を表示します。

自由記述欄の上の「■」をコピーします。■の上で右クリックしてメニューを表示し、「選択したノードを「コピー」」を選びます。



(25) そのまま、もう一度右クリックして今度は「選択したノードの前に貼り付け」を選びます。



「■」が挿入されました。下の「■」に「裏へ続く →」の文字を入力します。

- (29) メニューバーの「ファイル」をクリックし、表示されるメニューから「新規作成」→「点検型テンプレート」→「[点検活動] 実現度」を選びます。

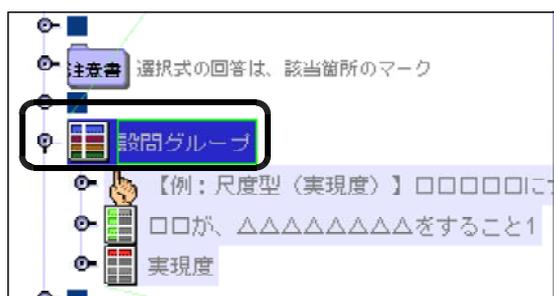


- (30) メイン画面に新しいタブ付きのウィンドウが表示されます。

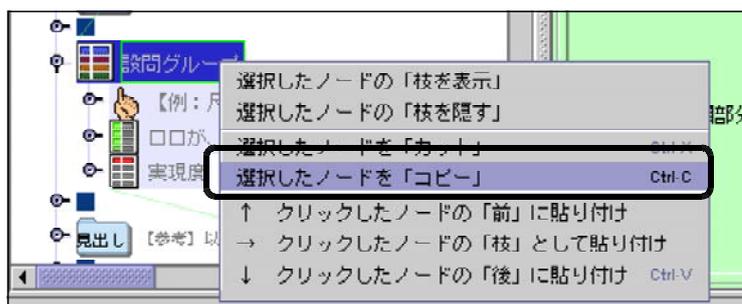


※画面を切り替えるには表示したいアンケートの名前のタブをクリックします。

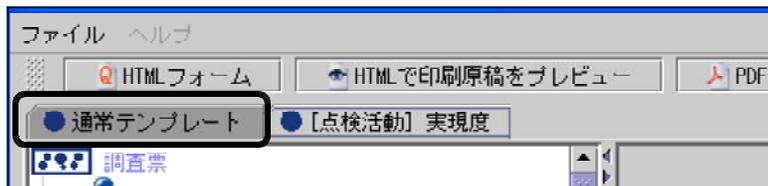
- (31) [点検活動] 実現度の左の構成ウィンドウのノードから、1 問目の「設問グループ」を選択します。



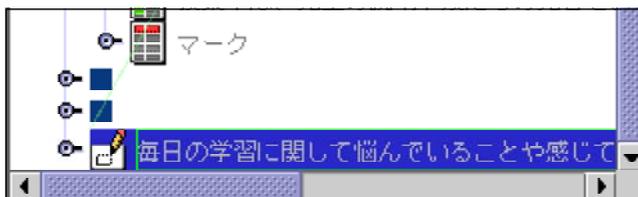
- (32) 右クリックしてメニューから、「選択したノードを「コピー」」を選びます。



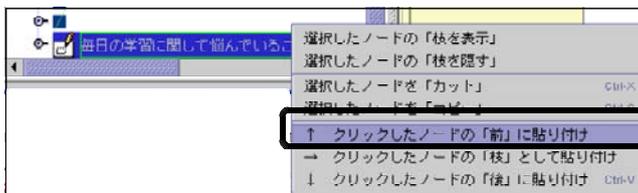
- (33) 通常テンプレートの画面に切り替えます。上の「●通常テンプレート」タブをクリックします。



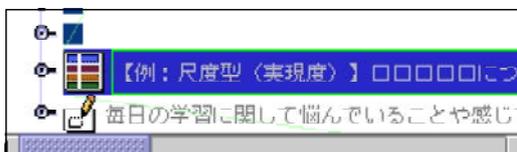
- (34) 通常テンプレートのノードが表示されますので、最後の記述式「毎日の学習に…」のノードを選択し、右クリックします。



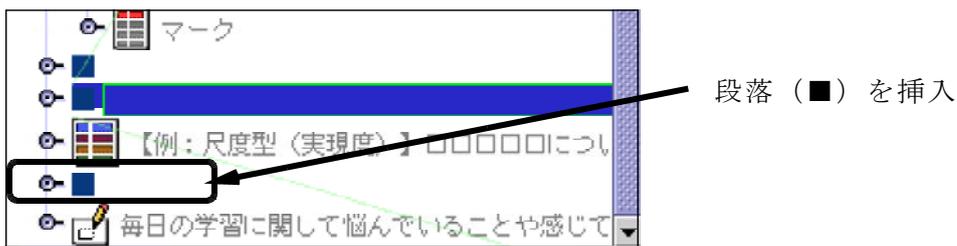
- (35) 表示されたメニューから「選択したノードの前に貼り付け」を選択します。



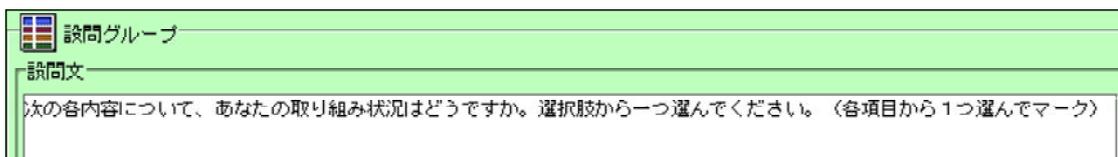
- (36) 「選択グループ【例：尺度型（…）】」が挿入されました。



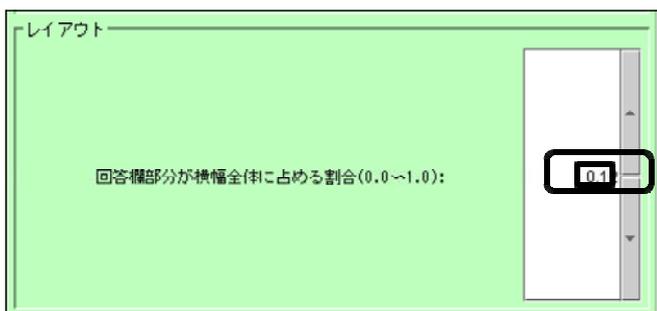
- (37) 上の「■」をコピーして、アンケート項目のノード間に挿入します。



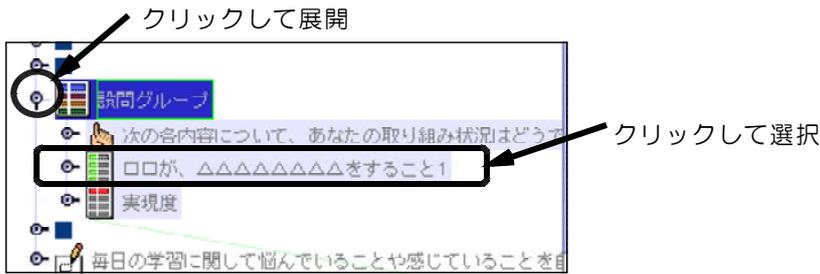
- (38) 設問グループ「【例：尺度型（実現度）】……」のノードをクリックし、右の画面の設問文に「次の各内容について、あなたの取り組み状況はどうですか。選択肢から1つ選んでください。（各項目から1つ選んでマーク）」と入力します。



- (39) レイアウトの値は変更しません。



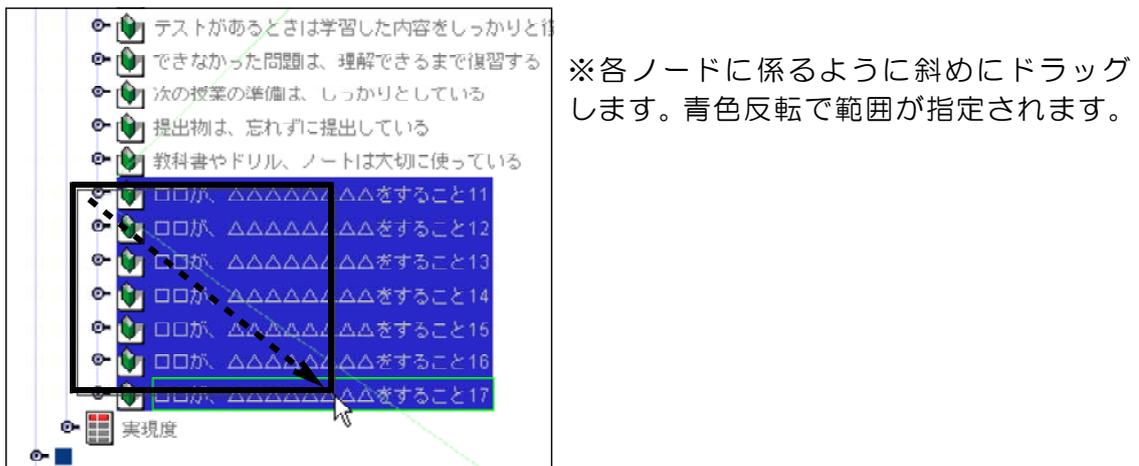
(40) 設問グループのノードの内容を開き、「□□が、△△△△△……」を選択します。



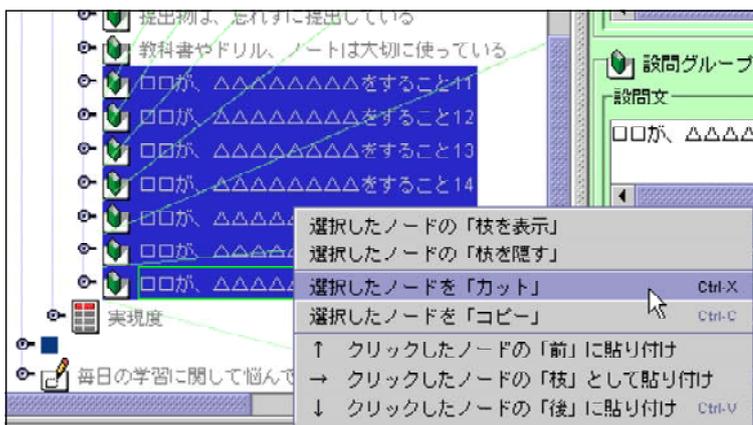
(41) 右のウィンドウで、設問文に以下のような10項目を入力します。

- ① 「遅刻をしないで、登校する」
- ② 「あいさつや返事は、大きな声でできる」
- ③ 「わからないところは、積極的に先生に質問する」
- ④ 「友だちに質問されたらちゃんと教えてあげる」
- ⑤ 「宿題は、ちゃんとやっている」
- ⑥ 「テストがあるときは学習した内容をしっかりと復習してからテストを受ける」
- ⑦ 「できなかった問題は、理解できるまで復習する」
- ⑧ 「次の授業の準備は、しっかりとしている」
- ⑨ 「提出物は、忘れずに提出している」
- ⑩ 「教科書やドリル、ノートは大切に使っている」

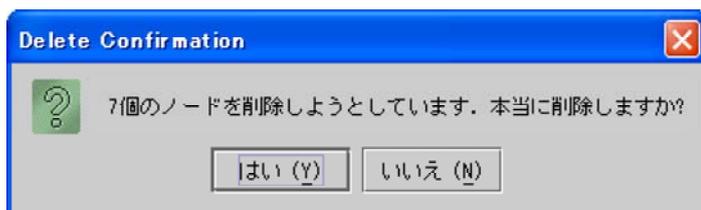
(42) 11番目以降の設問文を削除します。左のウィンドウで、削除するノードをマウスで範囲指定します。



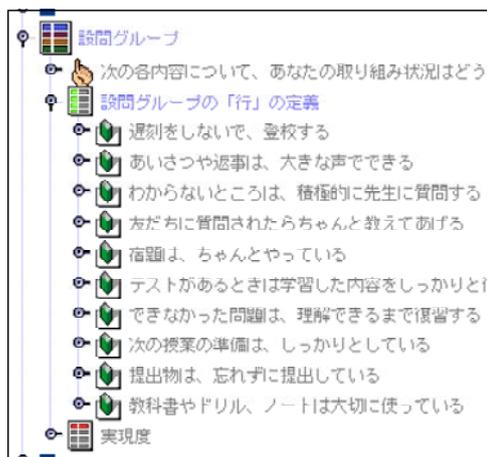
(43) 右クリックをしてメニューから「選択したノードを「カット）」を選択します。



(44) 次のメッセージが表示されます。「はい」のボタンをクリックします。



(45) 削除され、10個の設問文が設定されました。



(46) プレビューで確認します。

(5) 次の各内容について、あなたの取り組み状況はどうか。選択肢から1つ選んでください。(各項目から1つ選んでマーク)

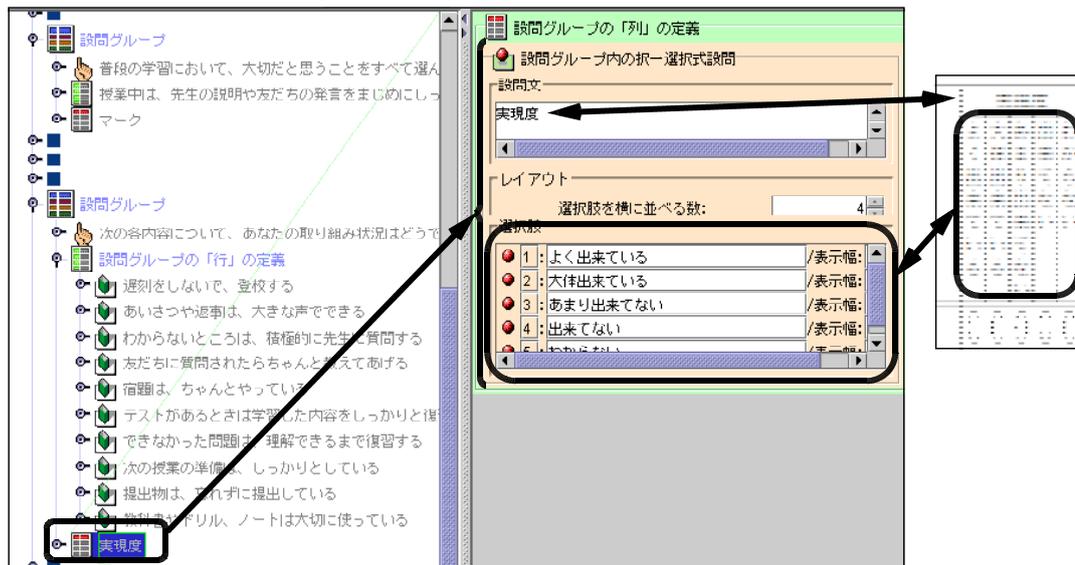
	実現度			
	よく出来ている	まあまあ出来ている	あまり出来ていない	わからない
1 遅刻をしないで、登校する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 あいさつや返事は、大きな声でできる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 わからないところは、積極的に先生に質問する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 友だちに質問されたらちゃんと教えてあげる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 宿題は、ちゃんとやっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 テストがあるときは学習した内容をしっかりと復習してからテストを受ける	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 できなかった問題は、理解できるまで復習する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 次の授業の準備は、しっかりとしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 提出物は、忘れずに提出している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 教科書やドリル、ノートは大切に使っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(47) この設問グループの前にもう一つ段落（■）を挿入し以下のようにします。



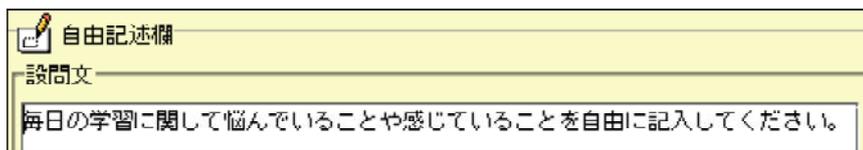
※参考 設問項目「列」(回答選択肢の欄)

選択肢の内容を変更することが可能です。左のウィンドウで、回答選択肢（この場合は「実現度」）をクリックし、右側に表示される各項目を設定します。

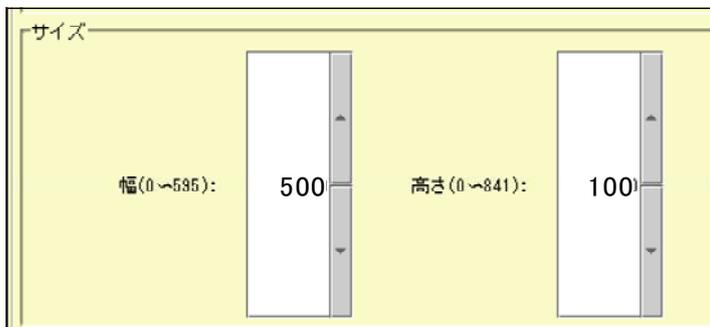


(48) 5つめの質問文と回答欄（自由記述型）を作成します。

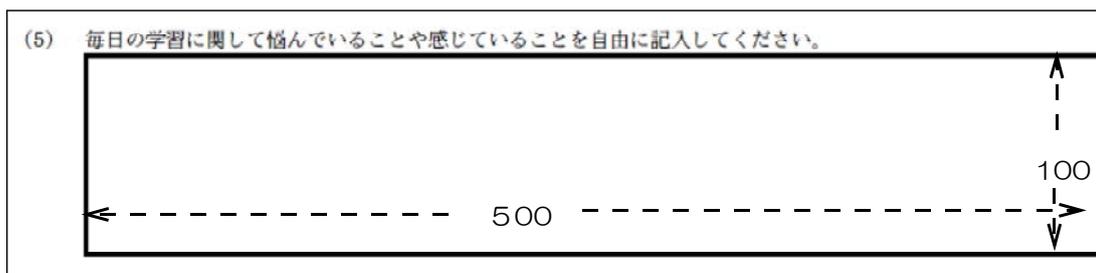
「【例：自由記述欄】□□□に関してご意見……」のノードをクリックし、属性ウィンドウで設問文に「毎日の学習に関して悩んでいることや感じていることを自由に記入してください。」と入力してください。



(49) サイズで 幅(0~595):を「500」、高さ(0~841):を「100」にします。



(50) プレビューで確認します。回答欄の幅、高さの指定は以下のようにになっています。



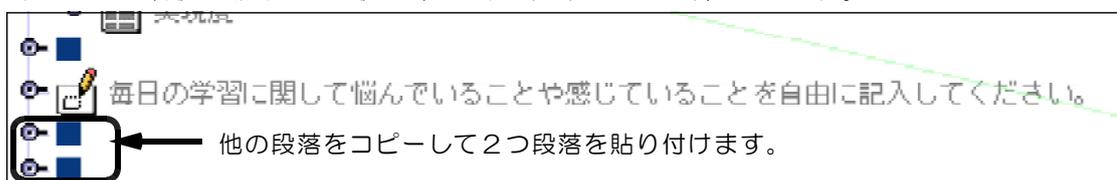
(51) 全体をプレビューし、バランスを確認します。

各設問や説明文は、段落（■）で行間を取っています。これを挿入・削除することによってうまくページに収まるようにバランスを取ってください。

回答のしやすさを第一に考えてレイアウトしてください。

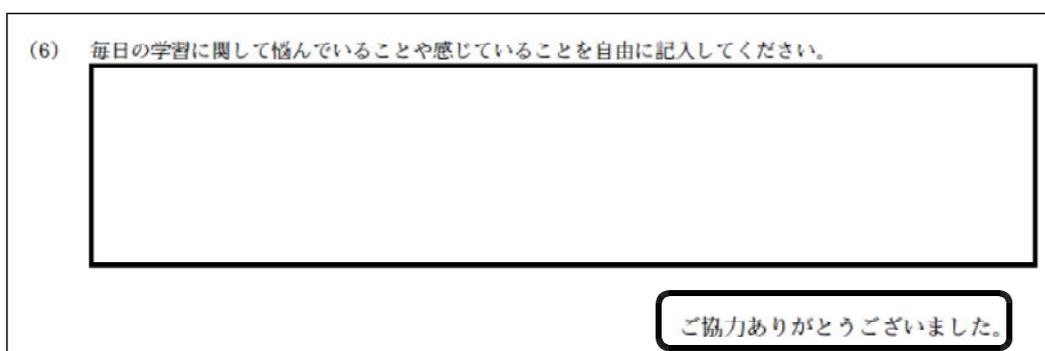
(52) 最後に、調査協力に対するお礼文を挿入します。

記述式の最後の設問文の後に、段落（■）を2つ挿入します。



(53) 一番最後の段落を選択し、右側のウィンドウの文字データに以下のように入力します。空白は、適宜取ってください。

「□□□□□□□□□□……□□□□□□□□ご協力ありがとうございました。」



※協力のお礼文は、必ず表示しましょう。

【作成されたアンケート】

★マークのしかた

はい いいえ

学習に関する調査

学習に関する以下の項目について、あなたの考えをお聞かせください。

選択式の回答は、該当箇所のマークを塗り潰してご回答ください。
 : 空白マーク : 正しい塗りつぶし : 不十分な塗りつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。
 この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないように注意してください。

(1) あなたの学年を教えてください。

1学年 2学年 3学年

(2) あなたの学習状況について、以下の項目からあてはまるものを1つ選んでください。(1つマーク)

学校での学習がとても良く理解できるけど、
 学校での学習はまあまあ理解できるほうだ、
 学校での学習は教科によって理解できるものとできないものがある、
 学校での学習はあまりよくわからない、
 学校での学習はほとんど理解できない。

(3) あなたの好きな科目はありますか。あてはまるものをすべてマークしてください。(複数回答可)

国語 社会 数学
 理科 音楽 英語
 保健体育 技術・家庭 外国語

(4) 最初の学習において、大抵だと感じingことをすべて選んでください。(複数回答可)

授業や先生の説明や友だちの発言をまじめにしっかりと聞くこと。
 授業のしーかりとノートを取ること。
 問題を最後までしっかりとやること。
 授業以外でも学習や復習をやること。
 授業に必要な教科書やノートなどの忘れ物をしないこと。

回答へ続く →

1 / 3

★マークのしかた

はい いいえ

(5) 次の各内容について、あなたの取り組み状況はどうか。複数数から一つ選んでください。(各項目から一つ選んでマーク)

	取り組み状況				
	よくできている	まあまあできている	ややできていない	できていない	わからない
1 遅刻をしないで、参加する	<input type="radio"/>				
2 あいさつや返事は、大きな声でできる	<input type="radio"/>				
3 わからないところは、積極的に先生に質問する	<input type="radio"/>				
4 友だちに質問されたらちゃんと教えてあげる	<input type="radio"/>				
5 宿題は、ちゃんとやっている	<input type="radio"/>				
6 テストがあるときは学習した内容をしっかりと復習してからテストを受ける	<input type="radio"/>				
7 できなかった問題は、理解できるまで復習する	<input type="radio"/>				
8 次の授業の課題は、しっかりとしている	<input type="radio"/>				
9 授業中は、忘れずに提出している	<input type="radio"/>				
10 教科書のドリル、ノートは大切に扱っている	<input type="radio"/>				

(6) 毎日の学習に励んでいることを感じていることを自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

アンケート結果につきましては、集計及び分析の後に校報でお知らせいたします。また、本校Webページにて公開をする予定です。

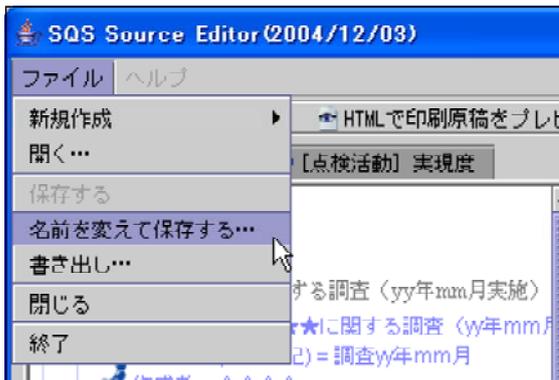
2 / 3

7 アンケート項目データの保存

作成されたアンケートのデータを保存します。保存するものは以下の2種類のファイルです。保存のしかたが異なりますので注意してください。

- ① SQSで作成されたファイル（アンケートのノードを集めた設計図）
- ② SQSファイルを元に生成されたPDFファイル（印刷されるアンケート用紙）

- (1) SQS ファイル（****.sqs 形式）を保存します。メニューバーの「ファイル」から、「名前を変えて保存する」を選択します。



- (2) SQS ファイルを保存するフォルダを選択し、ファイル名を「学習調査.sqs」とします。拡張子（.sqs）は変更や削除しないように注意してください。



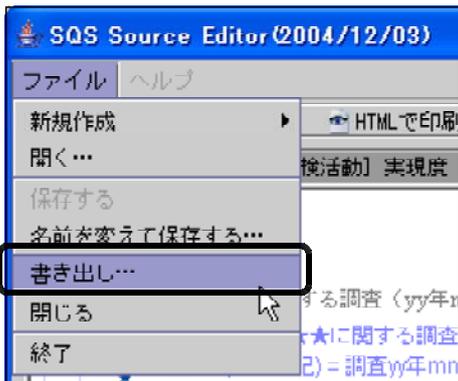
※参考

「A screenshot of the 'SQS Sourceファイルの別形式での書き出し' dialog box. The '保存:' field shows a folder named 'アンケート'. A red box highlights the 'New folder' icon (a folder with a plus sign) in the toolbar. An arrow points from this icon to a newly created folder named '学習調査' in the file list. Below the file list, text reads: 「新しいフォルダ」が追加されます。ダブルクリックして名前を変更します。

作成したファイル名がタブに表示されます。



- (3) PDFファイルを保存します。メニューバーの「ファイル」から、「書き出し」を選択します。

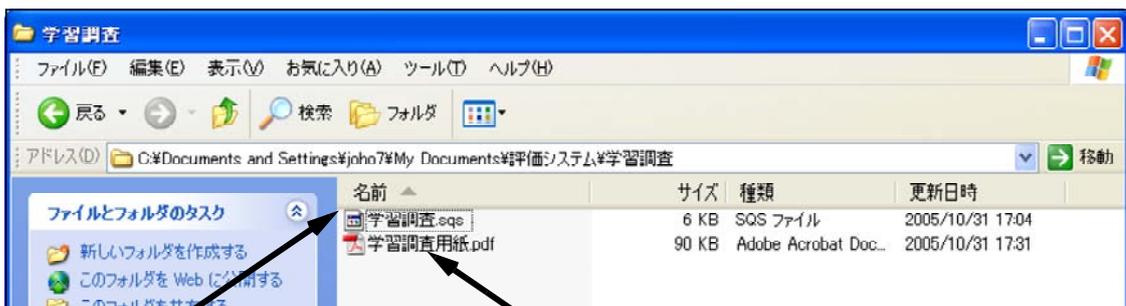


- (4) 「学習調査用紙.pdf」と名前を入力して、「保存」ボタンをクリックします。



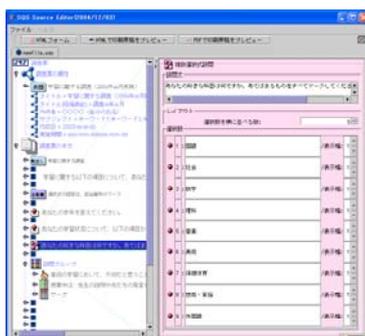
作成画面が表示されます。

- (5) フォルダの内容は以下ようになります。



① アンケートの設計図SQSのファイル(.sqs)

② 印刷される用紙PDFのファイル(.pdf)

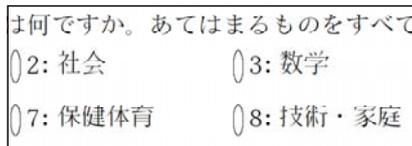


8 アンケート用紙の印刷

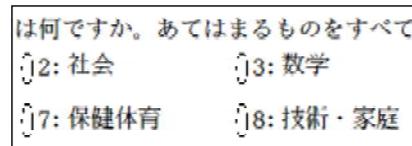
アンケート用紙の印刷は、PDFファイルを表示した状態から印刷することができます。以下の点に注意して印刷してください。

※印刷の注意点

- ①原稿はくっきり印刷するため、できるだけ上質紙を使って印刷してください。
- ②印刷モードを選択できる場合には、「精細」、「きれい」等の高画質での印刷モードを選択します。画質を低くすると、文字やマーク塗りつぶしの線が欠けてしまうことがあります。

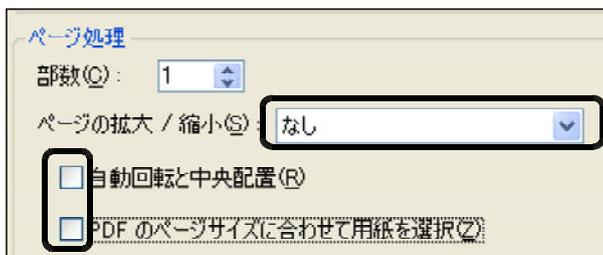


【高品質】

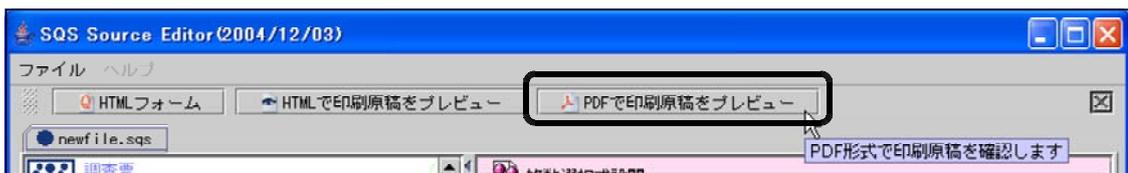


【通常】

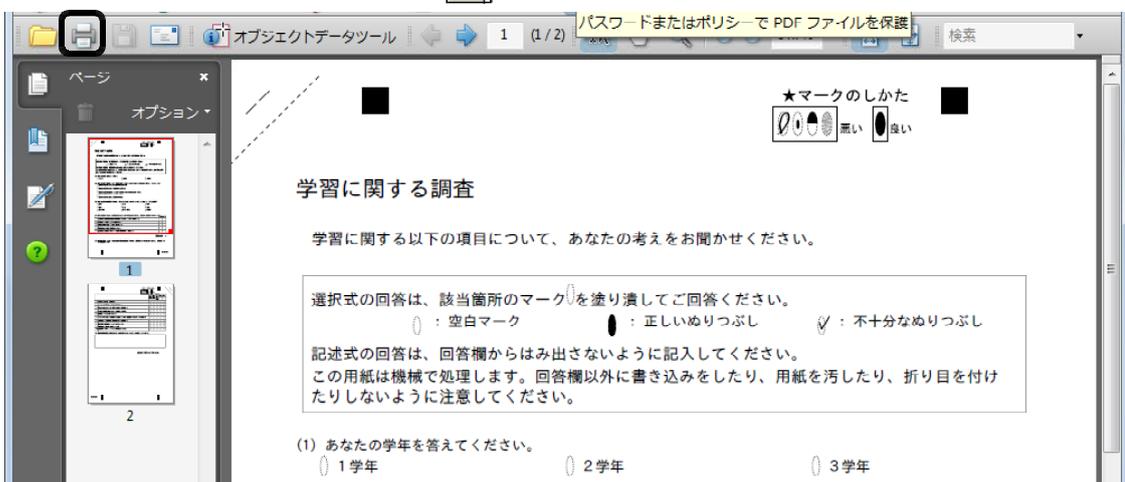
- ③印刷時に自動的にページに収まるようなサイズ指定の設定がされていると、正しく読み取りができない場合があります。印刷時には設定をはずしてください。



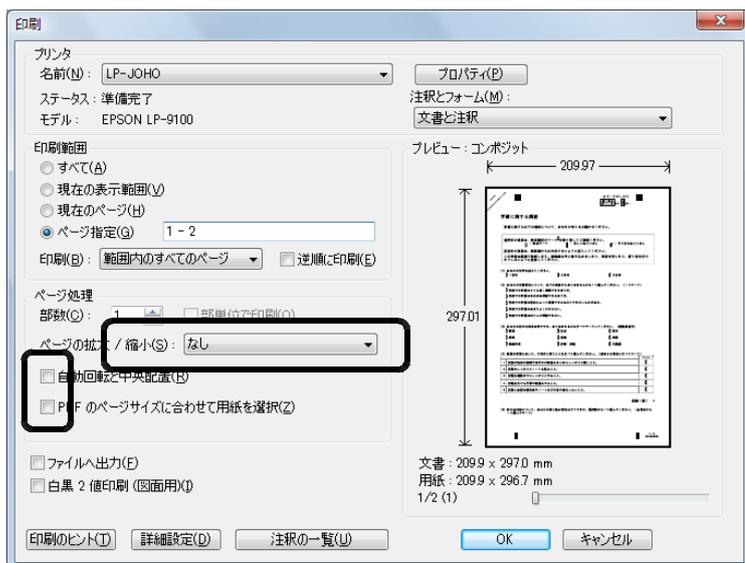
- (1) SQSSosourceEditor の画面で「PDFで印刷原稿をプレビュー」のボタンをクリックし、プレビューします。



- (2) 表示されたプレビュー画面で「印刷」ボタンをクリックします。



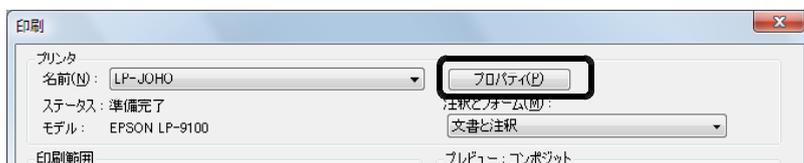
- (3) 印刷の設定画面で、「ページ処理」のサイズ設定のチェックをはずします。



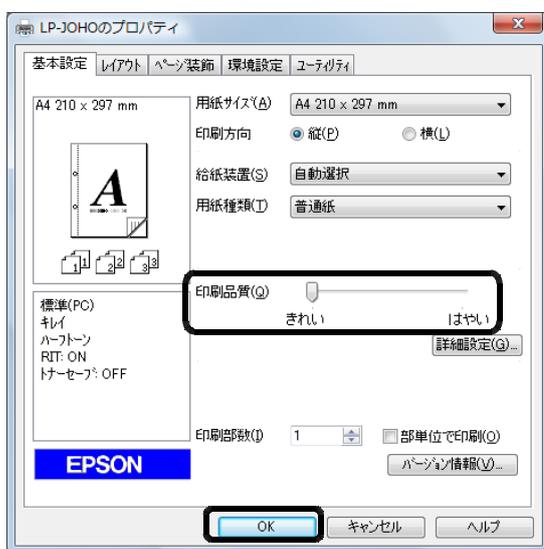
※ポイント

ページ処理の設定を外して、用紙の印刷が自動的に調整されマーク位置がずれてしまうのを防ぎます。

- (4) 「プリンタ」の「プロパティ」のボタンをクリックします。

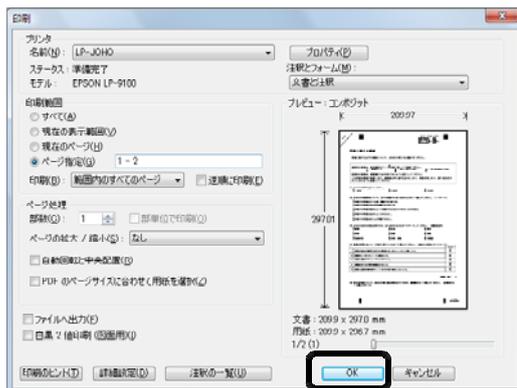


- (5) 印刷の品質を「きれい」、「高精細」、「高画質」等の設定にし、「OK」ボタンをクリックします。



※プリンタの機種により設定は異なります。

- (6) 印刷の画面で「OK」ボタンをクリックし、印刷を開始します。



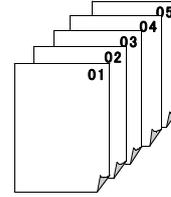
※PDFファイルを直接開いても同様に印刷することができます。
その場合も、印刷品質等の各種の設定をしてください。

回収したアンケート用紙のスキヤナでの読み取りと画像変換

1 アンケート用紙のスキヤニング（PDFファイルとして保存）

(1) 読み取らせるアンケート用紙を確認します。

- ・ 上から順番に並べます。
- ・ 裏表、上下逆になっていないか確認します。
- ・ 後で確認しやすいように**番号を記入**します。
- ・ 読み込みがうまくいくようにしっかり裁きます。



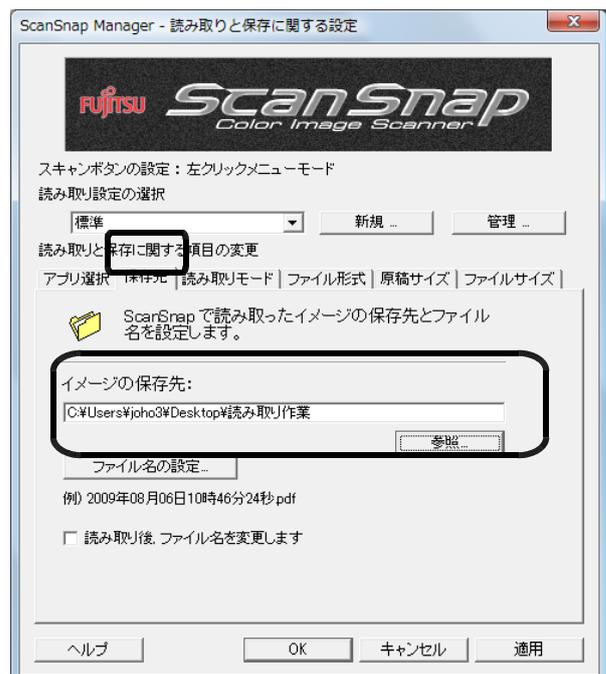
(2) スキャンスナップの設定をします。画面右下のタスクバー内にある  アイコンをダブルクリックして下の画面を表示します。

- ① 「アプリ選択」タブをクリックし、「アプリケーションの選択」の欄を「Adobe (R) Acrobat (R)」にします。



- ② 「保存先」タブをクリックし、「イメージの保存先：」の参照ボタンをクリックし、作業するフォルダを指定します。

保存先：「読み取り作業」フォルダ



③ 「読み取りモード」タブをクリックし、以下のように設定してあるか確認します。また、オプションボタンをクリックし、以下のようにチェックがされているか確認します。

- ・「画質の選択：」
→ 「ノーマル」
- ・「カラーモード：」
→ 「白黒」
- ・「読み取り面の選択：」
→ 「両面読み取り」



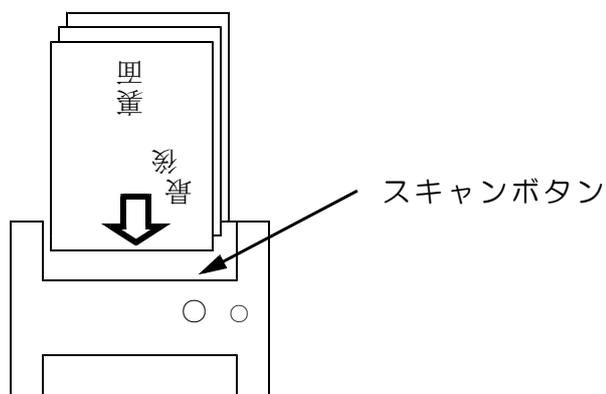
② 「ファイル形式」タブをクリックし、「テキスト認識して検索可能なPDFにします」のチェックを外します。



⑤その他は、特に設定しません。「OK」ボタンをクリックします。

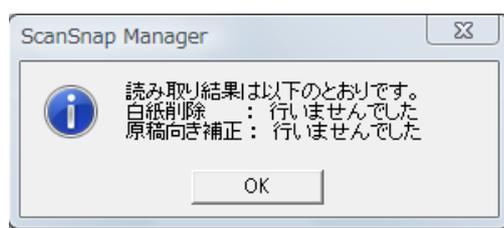
(3) アンケート用紙をセットし、スキャンボタンを押します。蓋を開けると電源が入ります。

- ・良く裁いてください。
- ・1番目の表が奥になるようにし、用紙の上側が下になるようにセットします。

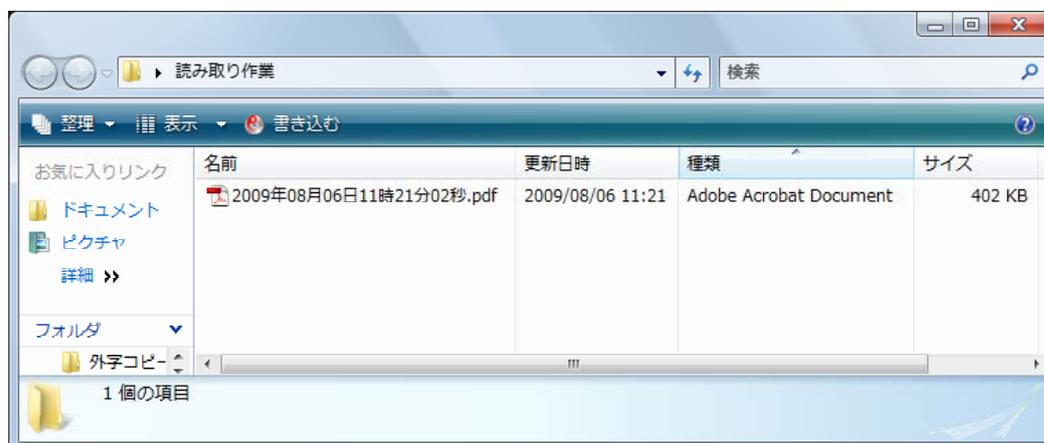


- ・スキャンボタンを押します。
- ・スキャンの際に、読み飛ばしなどエラーがないように確認していきましょう。

(4) スキャンが終了すると確認のダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。



(5) フォルダに、以下のようなファイルが保存されます。

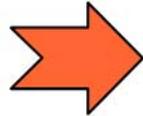


2 PDFファイルの画像データへの変換

読み取ったPDFファイルを1ページずつに切り出して画像データ（tiffファイル）に変換します。

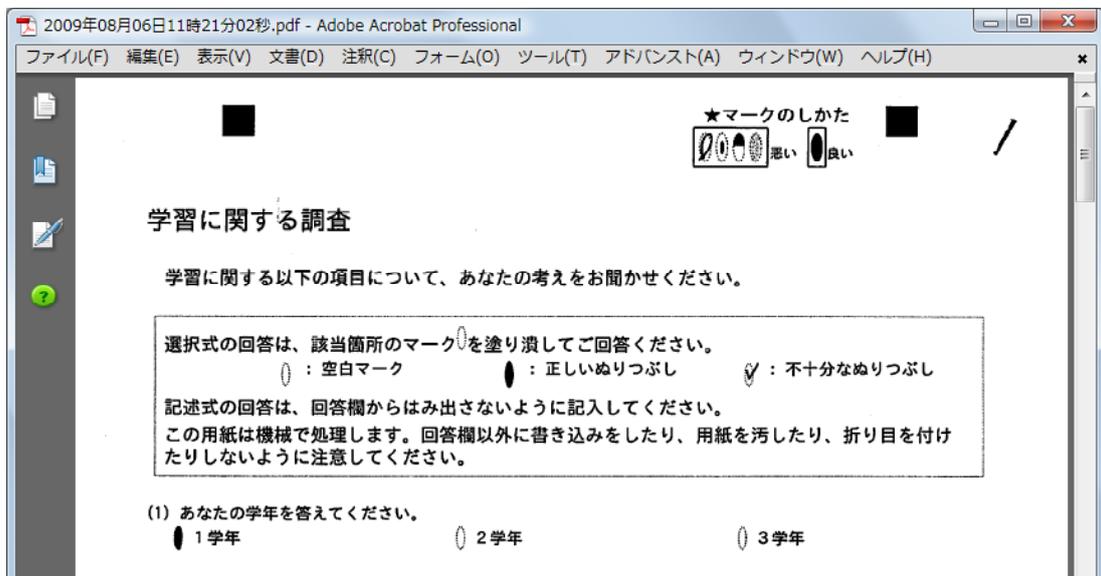


スキャンした
PDFファイル

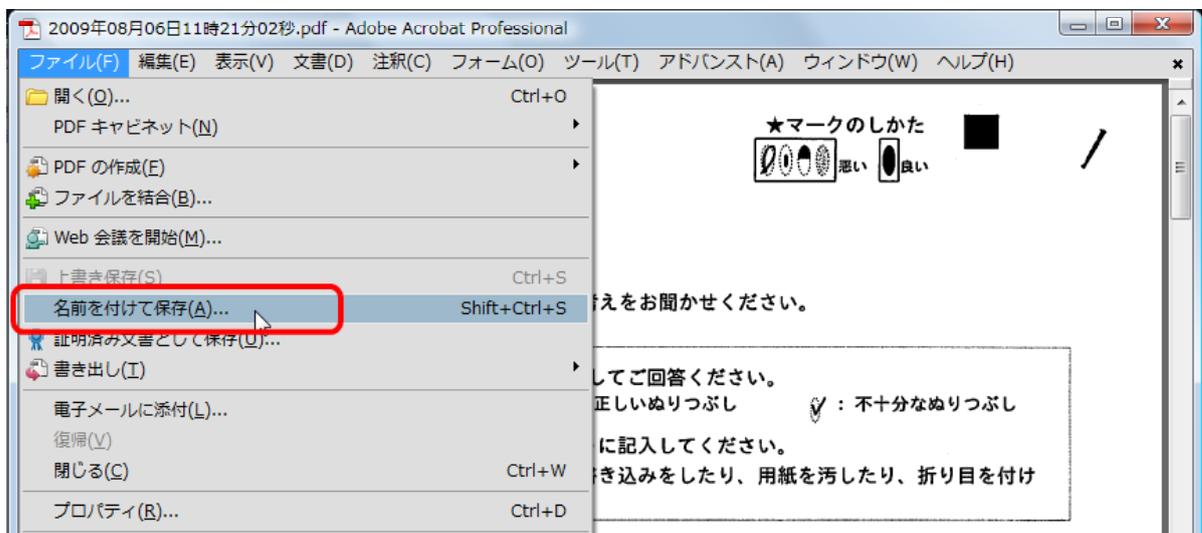


ページに分割した
TIFF画像ファイル

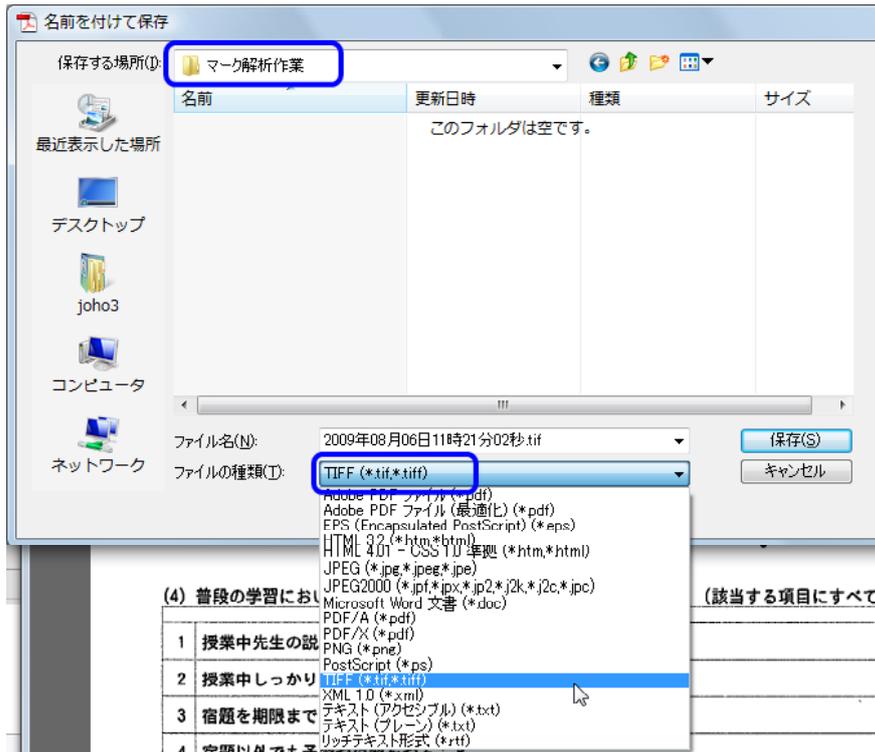
- (1) 読み取ったPDFファイルをAdobe Acrobatで開きます。



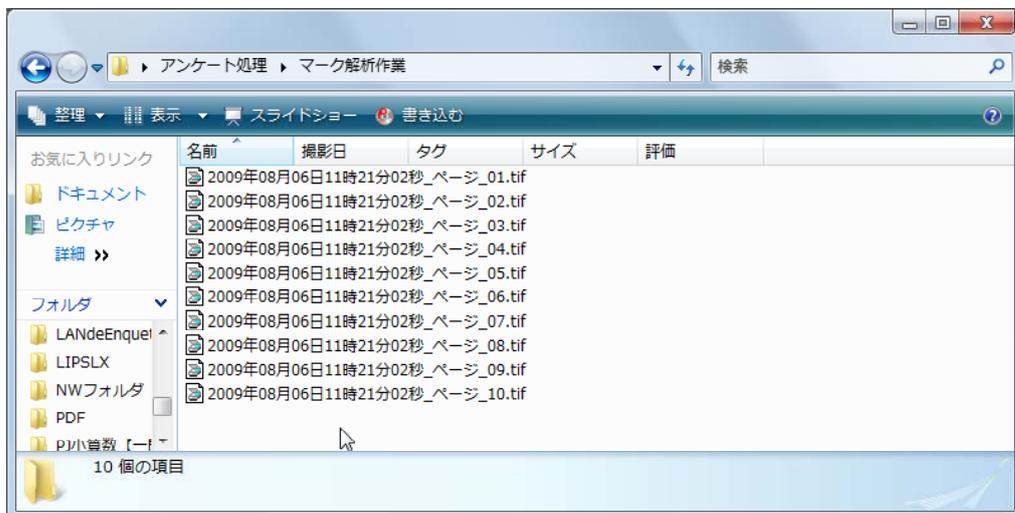
- (2) メニューから、「ファイル」→「名前を付けて保存」を選択します。



- (3) 「保存する場所」をマーク解析フォルダ、「ファイルの種類」を TIFF(*.tif *.tiff)に指定します。「保存」ボタンをクリックして保存します。



- (4) 「マーク解析作業」フォルダに、ページ毎に分割された TIFF ファイルがアンケートの総数分 (アンケートの件数×ページ数) 作成されます。



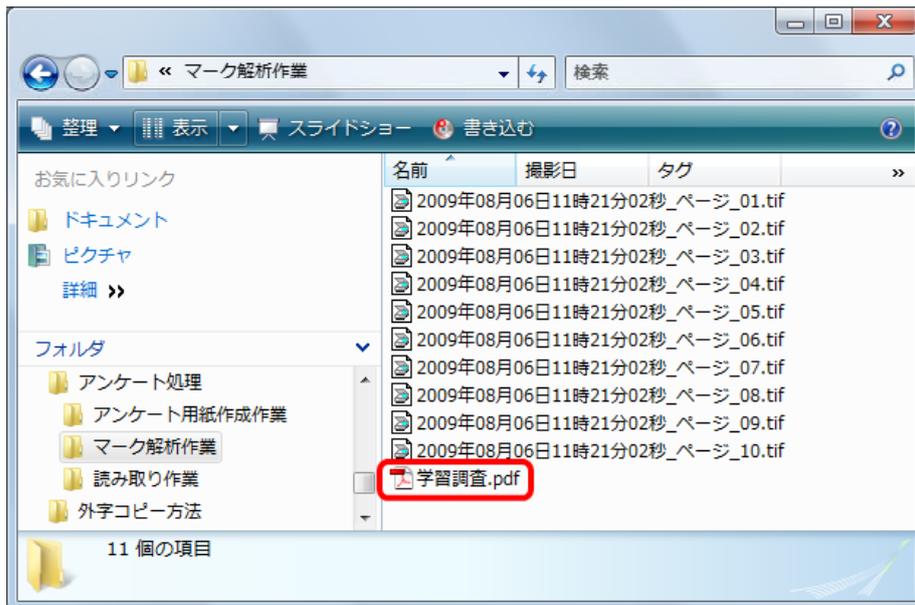
SQS MarkReader でのマークの解析

1 マーク解析の準備

マークを解析するために、フォルダ内に必要なファイルを用意します。

<ポイント>
 フォルダ内に必ず、アンケート用紙のPDFと、ページ別の画像ファイルを保存しておく必要があります。
 その他のファイルを置くと正しく処理ができない場合があります。

- (1) マーク解析フォルダ内に、アンケート用紙のPDFファイルをコピーします。

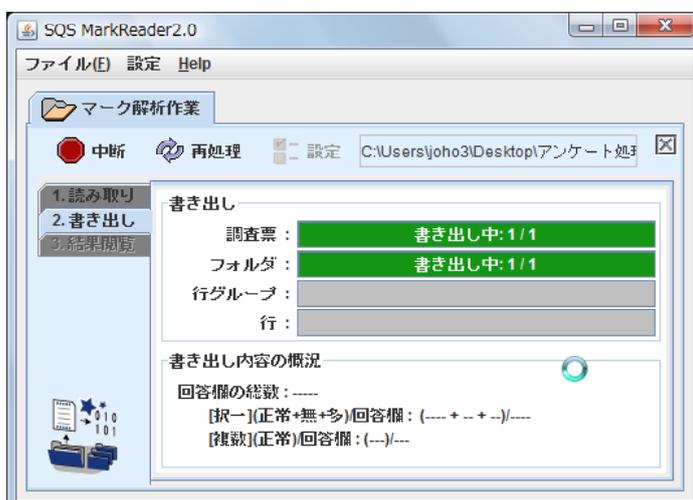


2 マーク解析

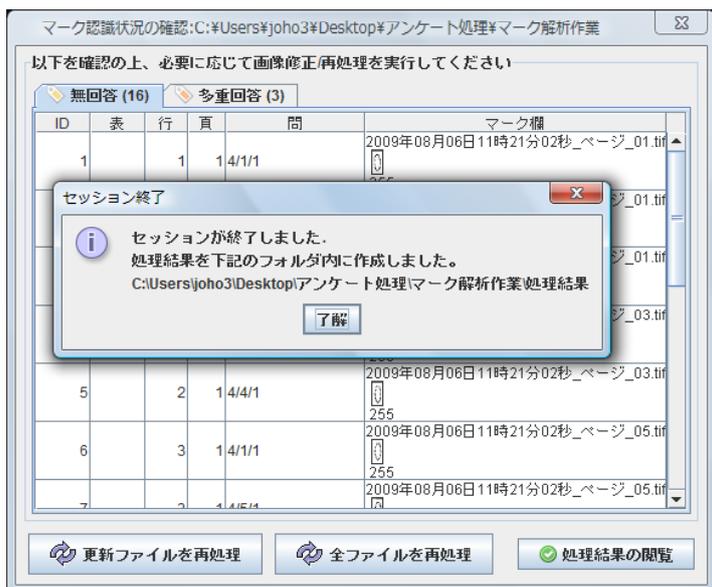
- (1) S Q S マークリーダを起動して、フォルダをドラッグ&ドロップします。



- (2) マーク解析処理が自動で開始されます。



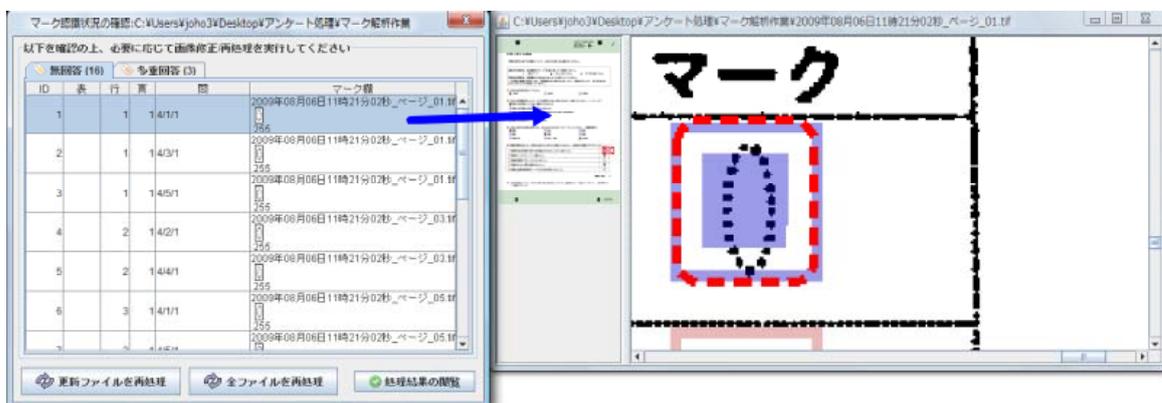
- (3) 処理が終了すると、次のような画面が表示されます。「了解」ボタンをクリックします。



- (4) 「無回答」「多重回答」のあるページとその回答番号等が表示されます。



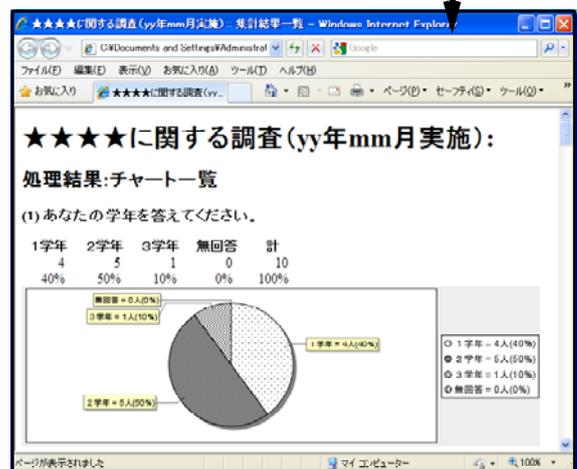
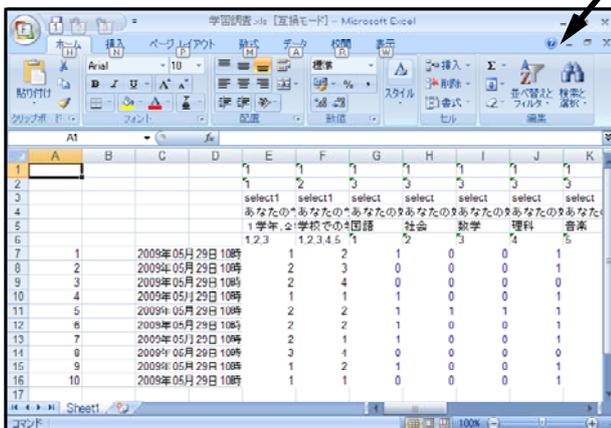
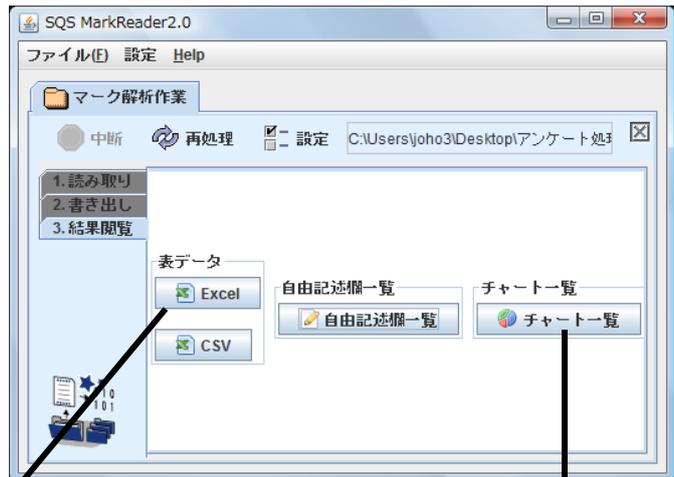
- (5) 回答の解析状況の画像を確認するときは、該当する行をダブルクリックします。



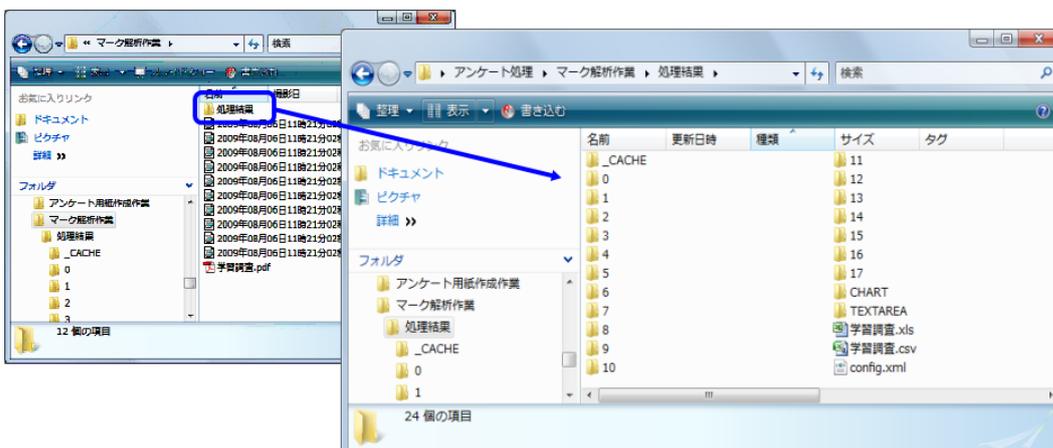
(6) 「処理結果の閲覧」 ボタンをクリックします。



(4) 「表データ」で Excel に読み込むことができます。
 「自由記述一覧」は開発中のため使用できません。
 「チャート一覧」でグラフを表示します。



(5) 集計したデータは「処理結果」フォルダに保存されています。



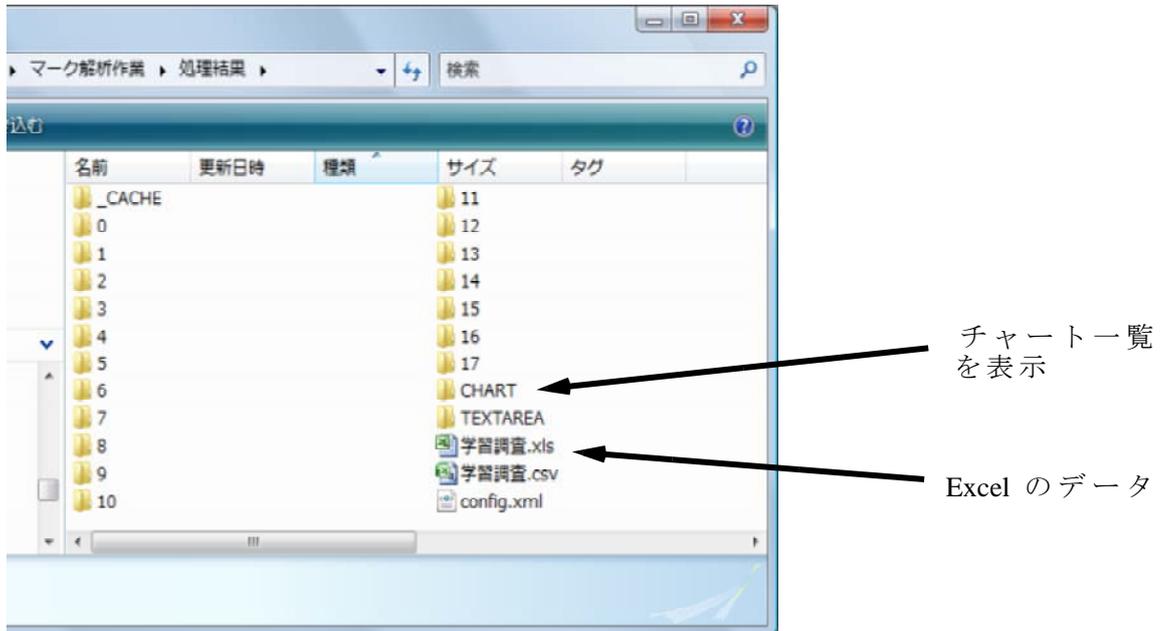
アンケート結果の分析

1 解析結果の内容

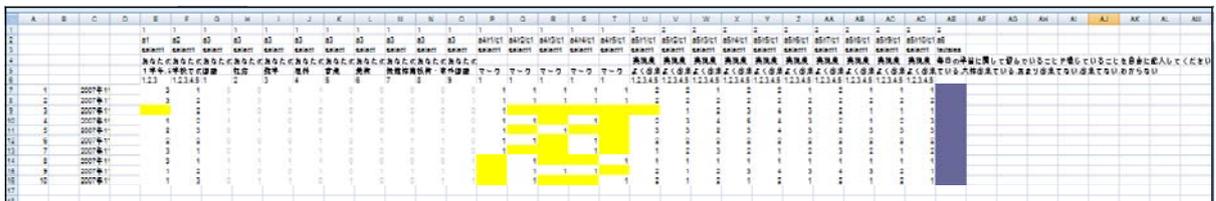
(1) SQSMarkReaderで読み取った結果は、「元データのあったフォルダ名」フォルダの中の「処理結果」フォルダに保存されています。フォルダの内容は以下のとおりですが、分析のために利用するのはEXCEL形式のデータです。

(例) 「処理結果」フォルダの内容

処理結果フォルダの内容



(2) Excel形式データを開くと、次のようなデータが表示されます。



※セルの色について

黄色のセル・・・読み取れなかったデータ、または未記入のデータをあらわします。
 紫色のセル・・・手書き文字による回答欄の画像の項目をあらわします。

(3) 各列、各行の意味は以下の例ようになります。

	読取番号	ファイル名	質問(1)	質問(2)	質問(3)の選択									質問(4)の各項目1~5					
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
1行目	アンケートのページ		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
2行目	質問番号(1)→a1,(2)→a2・・・等		a1	a2	a3	a3	a3	a3	a3	a3	a3	a3	a3	a4/r	a4/r2	a4/r3	a4/r4	a4/r5	a5/h
3行目	選択方法		select1	select1	select1	select1	select1	select1	select1	select1	select1	select1	select1	select1	select1	select1	select1	select1	select1
4行目	質問文		あなたのあなたのあなあなあなあなあなあなあな																
5行目	選択肢の内容		1学年,2学校の国語社会数学科音楽美術保健技術外国																
6行目	選択肢の番号		1,2,3	1,2,3,4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	1	1	1	1	1,2
	<1件目>	1	2007年11月28日21時20分	3	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	<2件目>	2	2007年11月28日21時20分	3	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	<3件目>	3	2007年11月28日21時20分	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	<4件目>	4	2007年11月28日21時20分	1	2	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	<5件目>	5	2007年11月28日21時20分	2	3	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	<6件目>	6	2007年11月28日21時20分	2	2	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1
	<7件目>	7	2007年11月28日21時20分	3	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

6 課題発見型アンケート形式の集計とグラフ化

課題発見型のアンケートでは、

「重要度」－「満足度」

「重要度」－「実現度」

の関係をみることにより、以下のような各項目の実態を把握することができます。

「重要度」が高く「満足度・実現度」が高い	学校の取組が評価されている項目
「重要度」が高く「満足度・実現度」が低い	改善を図ることが必要な喫緊の課題項目
「重要度」が低く「満足度・実現度」が高い	普段の活動により成果を上げている項目
「重要度」が低く「満足度・実現度」が低い	緊急ではないが改善の必要がある項目

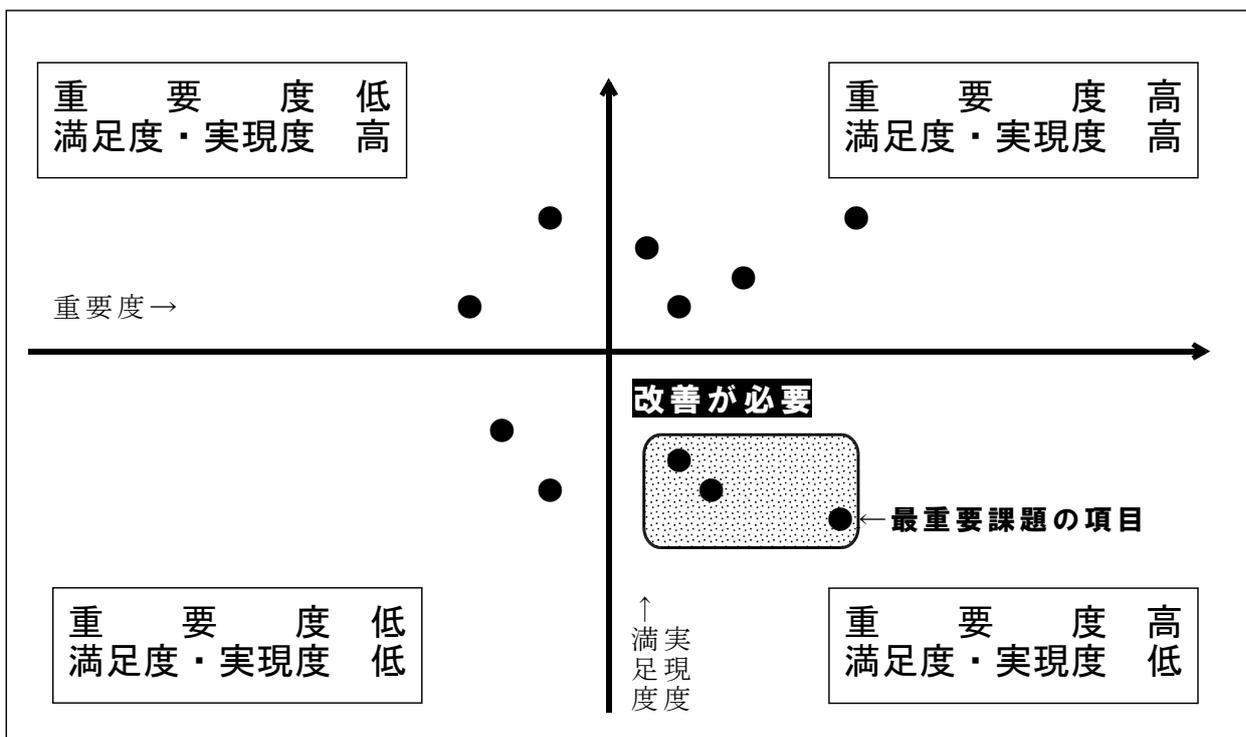
(1)本校の教育活動についてお伺いします。以下の各項目について、あなたは「(A)どのくらい重要だと思うか【重要度】と、校務において「(B)どの程度実現できていると思うか【実現度】」をお答えください。

((A)と(B)の両方の該当する箇所(各項目1カ所ずつ)を塗りつぶしてください)

	(A)重要度				(B)実現度				
	大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
1 教職員は、児童生徒の自立支援に向けて前向きに取り組んでいる。	0	●	0	0	0	0	●	0	0
2 学校は、連絡帳や配布物を通じて、家庭との連絡や情報提供を行っている。	0	●	0	0	●	0	0	0	0
3 教職員は、児童生徒一人ひとりの障害の状況を把握し、日常の指導に生かしている。	●	0	0	0	0	0	0	●	0
4 教職員は、心身の健康や障害の状況について、気軽に相談に応じている。	0	●	0	0	0	0	0	0	●
5 学校は、授業公開や他校との交流等を通じて、開かれた学校づくりに努力している。	0	●	0	0	0	●	0	0	0
6 教職員は、教育計画の作成段階で評価計画をもち、逐次達成状況を点検している。	0	●	0	0	0	0	0	0	●
7 学校は、特別支援学校としての役割を果たすため、校内体制の整備や地域との交流、連携に努めている。	0	●	0	0	0	0	0	●	0

【課題発見型アンケート調査の例】

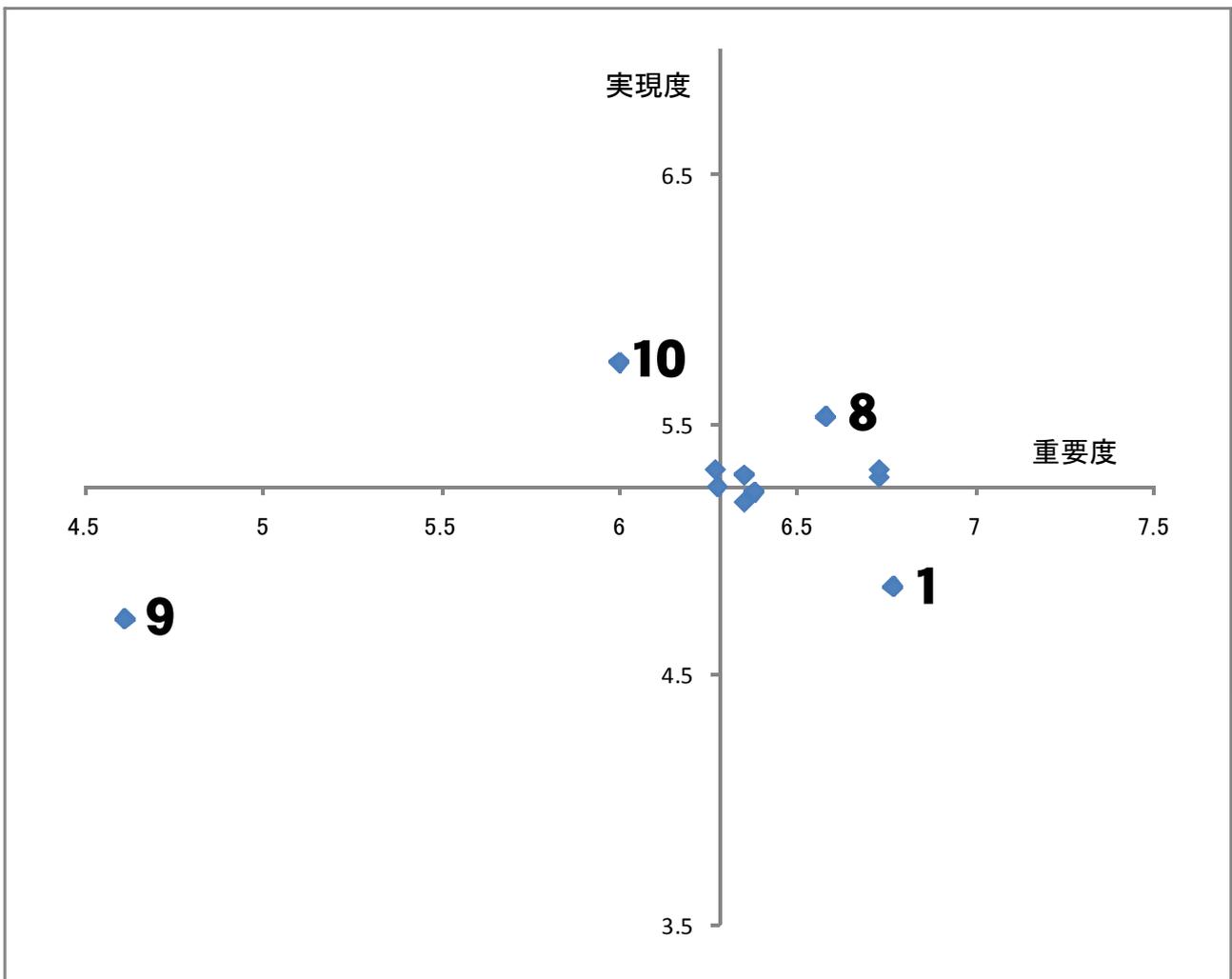
関係を散布図で表すと次のように表現できます。
課題発見型アンケートの集計結果をもとに傾向をグラフ化してみましょう。



y 軸「重要度」の平均値で、x 軸を「満足度・実現度」の平均値にします。

【演習】 次の重要度、満足度・実現度の平均値から、散布図を作成します。

質問番号	重要度	実現度
1	6.77	4.85
2	6.73	5.29
3	6.73	5.32
4	6.35	5.19
5	6.38	5.23
6	6.35	5.30
7	6.27	5.32
8	6.58	5.53
9	4.61	4.72
10	6.00	5.75
全体平均値	6.28	5.25



《参考 Web ページ》

- S Q S 開発者 (久保裕也) の日記 <http://sqs.prof.cuc.ac.jp/>
- Shared Questionnaire System <http://sqs-xml.sourceforge.jp/>
- 奥州市立黒石小学校 学校評価 : トップページ
http://school.city.oshu.iwate.jp/kuroishi-e/hyouka/hyouka_top.html
- 岩手県立盛岡商業高等学校 <http://www2.iwate-ed.jp/moc-h/>

S Q S は、以下の方々によって開発されたソフトウェアです。

©KUBO Hiroya/Shared Questionnaire System Development Project